

設置の趣旨等を記載した書類

資料目次

資料 1	「デジタル社会の実現に向けた重点計画－2025 年（令和 7 年）6 月 13 日－」 ...2
資料 2	「デジタル社会の実現に向けた重点計画」（抜粋）3
資料 3	調査報告書（抜粋）－経営情報学科で学んだ卒業生の採用－4
資料 4	成績評価ガイドライン7
資料 5	アセスメントプラン12
資料 6	学位授与の方針と教育課程編成・実施の方針（科目配置）との関係14
資料 7	カリキュラムツリー16
資料 8	カリキュラムマップ18
資料 9	履修モデル21
資料 10	教育上主要な授業科目及び主要授業科目への基幹教員の配置23
資料 11	学校法人北海道科学大学定年規程24
資料 12	学校法人北海道科学大学定年退職者の再任用に関する規程26
資料 13	学校法人北海道科学大学特任職員の任用に関する規程29
資料 14	定年を延長する基幹教員の補充計画33
資料 15	教育研究実施組織編製の将来構想34
資料 16	面積基準の算出根拠となる審査基準等35
資料 17	学術雑誌一覧36
資料 18	情報科学部 経営情報学科 授業時間割55
資料 19	北海道科学大学自己点検・評価規程57
資料 20	北海道科学大学ファカルティ・ディベロップメント規程60
資料 21	学校法人北海道科学大学スタッフ・ディベロップメント規程63
資料 22	北海道科学大学キャリア支援センター規程、キャリア支援委員会規程65

令和7年度デジタル社会の実現に向けた重点計画（概要）

（令和7年6月13日閣議決定）

目指すべき6つの姿は
引き続き維持

① デジタル化による成長戦略

② 準公共分野のデジタル化

③ デジタル化による地域の活性化

④ 誰一人取り残されないデジタル社会

⑤ デジタル人材の育成・確保

⑥ DFFTの推進を始めとする国際戦略
Data Free Flow with Trust

取組の方向性と重点的な取組

異分野を含めた関係行政機関・民間事業者の協業（連携・協力）による従来になかった新たな価値の創出
 制度・業務・システムを一体として捉え、三位一体で取組推進

▶ デジタル化のメリットを実感できる分野を着実に増やす

（1）AI・デジタル技術等のテクノロジーの徹底活用による社会全体のデジタル化の推進

① AIの活用環境の整備と利活用の促進

政府等におけるAI基盤（ガバメントAI（仮称））の構築・積極的な利活用／AI統括責任者（CAIO）、先進的AI利活用アドバイザリーボードの設置等政府内のガバナンス・推進体制構築／地方公共団体・民間事業者との共創

② 地方創生2.0（地域におけるデジタル・新技術の徹底活用）

デジタル公共財の共同利用・共同調達の促進／Well-Being指標の活用／NFT等の活用により地域の潜在価値を引き出す／地域交通DXの推進

③ AI・デジタル技術等のテクノロジーの活用による行政手続のデジタル完結の推進

マイナンバーカードを活用したオンライン市役所（公金受取口座活用、出生、引越手続等）／市民カード化（保険証、免許証、在留カード等）一体化、救急業務、被災者支援等）／民間ビジネス利用／スマホ搭載／事業者手続のデジタル化 など

（2）AIフレンドリーな環境の整備（制度、データ、インフラ）

① デジタル行財政改革の推進 利用者起点での規制・制度の見直し、官民データ法の抜本改正や新法などの検討

② AI・デジタル等テクノロジーの徹底活用を阻む制度の見直し 条例等の見直し促進、デジタル法制審査

③ ベース・レジストリ（公的基礎情報データベース）の整備・運用

法人ベース・レジストリ、不動産ベース・レジストリ、アドレス・ベース・レジストリの整備・運用

④ オープンデータの推進

⑤ 政府・地方公共団体のシステムにおけるデータの相互運用性の確保

⑥ デジタルの利用環境・インフラ整備 安全・安心な通信インフラの構築・運用、クラウドサービス産業の育成

⑦ AI向け計算資源・データセンターの整備の加速

ワット・ビット連携によるAI向け計算資源やデータセンターの適地への地方分散

（3）競争・成長のための協調

① データ連携・利活用推進

重点分野（医療、金融、教育、農業、公共事業、産業分野等）におけるデータ連携・利活用／トラスト基盤整備やデータ標準化・構造化、データ連携プラットフォームの信頼性確保等／データ戦略の司令塔機能／DFFTの一層の具体的推進

② 防災・医療・こども・教育等の準公共分野におけるデジタル化

防災デジタルプラットフォームの構築／防災アプリ開発・利活用の促進等／一人一人の状況に応じた被災者支援の充実／医療費助成受給者証や診察券との一体化／電子カルテ情報の標準化等／「プッシュ型子育て支援」の実現（子育て支援制度レジストリの整備、プッシュ型配信の仕組み構築）／保育業務施設管理プラットフォームの全国展開／保活情報連携基盤の構築／教育分野の認証基盤の調査研究等の実施／自動運転バス・タクシーの実装推進

③ 国の情報システムの最適化

ガバメントクラウド利用推進（大口割引、開発者向け環境の提供）、GSSの導入拡大、コスト削減と費用対効果の最大化

④ 地方公共団体情報システムの統一・標準化

移行期限に向けて円滑かつ安全な移行の推進、特定移行支援システムへの積極的な支援、システム運営経費に係る総合的な対策

⑤ 「国・地方デジタル共通基盤の整備・運用に関する基本方針」に基づく共通化の推進

⑥ これからの行政サービスを支えるネットワークや柔軟な情報連携等の実現

⑦ 産業全体のモダン化

（4）安全・安心なデジタル社会の形成に向けた取組

① デジタルリテラシー（デジタルを正しく理解し活用する力）の向上

② アクセシビリティ（誰でもデジタルに関する製品やサービスを利用できる環境）の確保

③ 偽・誤情報対策

④ サイバー犯罪対策

⑤ サイバーセキュリティの確保

官民の情報共有の強化／人材・産業を育成するエコシステムの形成／サプライチェーンのセキュリティ強化

（5）我が国のDX推進力の強化（デジタル人材の確保・育成と体制整備）

① 社会におけるデジタル人材の確保・育成

② 政府におけるDX推進体制の強化

③ 社会全体のデジタル化の司令塔機能の強化

データ政策・AI社会実装・デジタル人材育成等の司令塔機能の強化／デジタルのメリットを国民によりわかりやすく伝える

第2 重点政策一覧 / 第3 工程表 / 第4 オンライン化を実施する行政手続の一覧等 / 第5 デジタル行財政改革会議「データ活用制度の在り方に関する基本方針」

デジタル社会の実現に向けた重点計画－抜粋－

令和7年6月13日閣議決定

第1 目指す社会の姿、取組の方向性と重点的な取組

2. 直面する課題と情勢変化

⑤ デジタル人材の不足

社会全体でデジタル改革やデジタル実装を進めていくにあたってはデジタル人材が不可欠であるが、国、地方、企業などあらゆる場面でデジタル人材不足の課題が顕在化している。

特に、国際流動性の高い AI 等の新技術に専門性のある人材、洗練化・巧妙化するサイバー攻撃に対応できる高度セキュリティ人材、AI・テクノロジーの実装に必要な制度的検討や業務改革に対応できる人材、小規模市町村のいわゆる「ひとり情シス問題」に見られるような地方公共団体や地域のデジタル改革・デジタル実装を担う人材など、様々なデジタル人材の確保・育成が急務である。

また、我が国のデジタル人材については、欧米等と比較して、IT 関連企業に従事する割合が高く、ユーザー企業に従事する割合が低いとの調査結果もあり、AI 技術の進展をはじめとして変化の極めて早いデジタル技術を現場で十全に活用していく際の課題となっている。少子高齢化が急速に進む中において、停滞する労働生産性を向上させていくことが急務であり、デジタル人材を育成し、更にそうした人材が DX を推進する現場で適切な就業機会を得て、その能力を余すところなく発揮し、それが結果として労働生産性の向上や賃金上昇の改善につながる好循環を生んでいくことが求められる。

4. 取組の方向性と重点的な取組

(5) 我が国の DX 推進力の強化（デジタル人材の確保・育成と体制整備）

① 社会におけるデジタル人材の確保・育成

デジタルを活用した課題解決や経済成長を実現するためにはその担い手となるデジタル人材の確保・育成が必要であるが、我が国においては、その質・量ともに不足している。特に、国際流動性の高い AI 等新技術に専門性のある人材や洗練化・巧妙化するサイバー攻撃に対応できる高度セキュリティ人材、AI・テクノロジーの実装に必要な制度的検討や業務改革に対応できる人材や、小規模市町村のいわゆる「ひとり情シス問題」に見られる地方公共団体や地域のデジタル改革・デジタル実装を担う人材が不足している。我が国の社会全体のデジタル化を加速させるためには、こうしたデジタル人材の確保・育成が急務である。

調査報告書（抜粋）－経営情報学科で学んだ卒業生の採用－

<人材需要全般に関する質問事項>

2. 人材の採用見込み

北海道科学大学への求人実績や卒業生の採用実績がある関連企業等に対して、人材の採用見込みについて質問したところ、回答件数 108 件の約 79.6%にあたる 86 件が「増加すると思う」と回答している。

問 2 人材の採用見込み

No.	カテゴリ	件数／人	全体／%
1	増加すると思う	86	79.6
2	増加すると思わない	22	20.4
	未回答・不明	0	0.0
	合計	108	100.0

<北海道科学大学の経営情報学科に関する質問事項>

3. 経営情報学科で養成する人材の必要性

北海道科学大学への求人実績や卒業生の採用実績がある関連企業等に対して、北海道科学大学の経営情報学科で養成する人材の必要性について質問したところ、回答件数 108 件の約 96.3%にあたる 104 件が「必要性を感じる」と回答している。

問 3 経営情報学科で養成する人材の必要性

No.	カテゴリ	件数／人	全体／%
1	必要性を感じる	104	96.3
2	必要性を感じない	4	3.7
	未回答・不明	0	0.0
	合計	108	100.0

<北海道科学大学の経営情報学科に関する質問事項>

4. 経営情報学科で学んだ卒業生の採用

北海道科学大学への求人実績や卒業生の採用実績がある関連企業等に対して、北海道科学大学の経営情報学科で学んだ卒業生の採用について質問したところ、回答件数 108 件の約 90.7%にあたる 98 件が「採用したいと思う」と回答している。

問 4 経営情報学科で学んだ卒業生の採用

No.	カテゴリ	件数／人	全体／%
1	採用したいと思う	98	90.7
2	採用したいと思わない	9	8.3
	未回答・不明	1	0.9
	合計	108	100.0

<北海道科学大学の経営情報学科に関する質問事項>

5. 経営情報学科で学んだ卒業生の採用人数

問 4 で、北海道科学大学の経営情報学科で学んだ卒業生を「採用したいと思う」と回答した関連企業等のうち、単年度当りの卒業生の採用人数を「1人」と回答したのは 19 件、「2人」と回答したのは 15 件、「3人以上」と回答したのは 9 件、「人数は未定」と回答したのは 55 件となっている。

問 5 経営情報学科で学んだ卒業生の採用人数

No.	カテゴリ	件数／人	全体／%
1	1人	19	19.4
2	2人	15	15.3
3	3人以上	9	9.2
4	人数は未定	55	56.1
	未回答・不明	0	0.0
	合計	98	100.0

6. 経営情報学科で学んだ卒業生の採用人数 ―クロス集計―

問3で、北海道科学大学の経営情報学科で養成する人材の必要性について「必要性を感じる」と回答した関連企業等で、問4で、北海道科学大学の経営情報学科で学んだ卒業生を「採用したいと思う」と回答した関連企業等のうち、問5で、単年度当りの卒業生の採用人数を「1人」と回答したのは19件、「2人」と回答したのは14件、「3人以上」と回答したのは9件、「人数は未定」と回答したのは55件となっている。

なお、採用人数を「3人以上」と回答した採用人数を「3人」とし、「人数は未定」と回答した採用人数を「1人」として採用人数を合計すると129人となり、これらの採用人数からも北海道科学大学の経営情報学科で学んだ卒業生に対する採用意向の高さをうかがうことができる。

このような北海道科学大学への求人実績や卒業生の採用実績がある一部の関連企業等に限定した調査結果においても、北海道科学大学の経営情報学科で学んだ卒業生への採用意向の高さがうかがえることから、卒業後の進路については見通しがあると考えられる。

【クロス集計】 経営情報学科で学んだ卒業生の採用人数／問3から問5までの条件に合致するもの

No.	カテゴリ	件数／件	人数／人
1	必要性を感じる×採用したいと思う×1人	19	19
2	必要性を感じる×採用したいと思う×2人	14	28
3	必要性を感じる×採用したいと思う×3人	9	27
4	必要性を感じる×採用したいと思う×人数は未定	55	55
	合計	97	129

クロス集計する選択肢

- * 問3 「養成する人材の必要性」／必要性を感じる
- * 問4 「卒業生の採用意向」／採用したいと思う
- * 問5 「卒業生の採用人数」／1人・2人・3人以上・人数は未定

VII.成績評価ガイドライン（2024 年度以降入学生向け）

本学では教育の基本理念として、「科学的市民（豊かな人間性ととも、基盤能力と専門性を併せ持ち、専門職としての役割を主体的に果たせる人材）の育成」を掲げています。この理念の実現に向けて、本学では下表のような方針等を策定・公開し運用しています。

（教育理念実現のための方針等）

大学全体	教育理念	科学的市民（豊かな人間性ととも、基盤能力と専門性を併せ持ち、専門職としての役割を主体的に果たせる人材）の育成
学科ごとの教育プログラム	人材養成の目的	学部・学科で養成する人材像を表したもの
	ディプロマ・ポリシー	卒業までに身に付ける能力・資質を項目別に明示したもの。 4年間または6年間の大きな学修目標
	カリキュラム・ポリシー	卒業時のディプロマ・ポリシー達成のために、どのような教育課程を編成し、どのような教育内容・方法を実施し、どのように学修成果を評価するのかを定めたもの
	カリキュラム	卒業時のディプロマ・ポリシー達成を目指して編成された教育課程（授業科目の構成）
授業科目	カリキュラム・フロー	ディプロマ・ポリシーの各項目を達成するために必要な授業科目の流れや、各項目と授業の整合性を体系的に理解できるようにした図
	シラバス	<ul style="list-style-type: none"> ・ディプロマ・ポリシーと科目との関係、単位修得のための達成目標 ・時間外学修を含む授業計画 ・達成度を評価する方法と成績に対する比率

（各学科の情報は HUS ナビの教務ブックに掲載）

大学での学修の仕組みにおいて基本的な構成要素となるのは各授業科目です。本学では、個々の授業科目において、ディプロマ・ポリシーと授業科目の関連性を意識し、達成目標にふさわしい客観的な評価方法を用いて、厳格かつ公正に成績評価を行います。本ガイドラインは本学における成績評価の指針等を定めたものです。

なお、本ガイドラインの内容は HUS ナビの教務ブックや、在学生に関する諸規程において定められていますので、参照してください。

1. 成績評価のガイドライン

○本学のディプロマ・ポリシーは、大学を卒業した者に対して社会から求められる能力・資質（学士力、社会人基礎力、学力の3要素等）を意識した全学共通の項目によって観点別に作られています。

○各授業科目の達成目標は、ディプロマ・ポリシーの各項目の内容や観点と対応づけて設定されています。

○これにより各科目の達成目標（到達目標）も観点別に設定されていることになります。

○各科目の成績評価においては、達成目標（到達目標）の観点にふさわしい手段を用いて達成状況を評価します。具体的には、「知識・理解」に対応するものの達成状況は主に試験を用いて評価しますが、「思考・判断・表現」「関心・意欲・態度」「技能」に対応するものについては、レポート、発表、作品などを用いたパフォーマンス評価を行います。

○達成目標（到達目標）とディプロマ・ポリシーの項目との対応、及び達成目標（達成目標）ごとの成績評価手段とその比率については、次の形式でシラバス上に明示します。

* 学部により方法が異なります。

工学部・情報科学部・保健医療学部・未来デザイン学部のシラバス

●ディプロマ・ポリシーと達成目標の関係の例

4. DP（学位授与の方針）との対応		
□1. コミュニケーション力		
論理的な思考力、記述力、発表と議論の能力を有し、文化やバックグラウンドが異なるコミュニティとの交流・情報交換や、他者と適切なコミュニケーションを取ることができる。		
□2. 課題発見解決力		
直面する問題を科学的かつ論理的に分析して課題を整理・説明する能力を有し、他者に働きかけ協力を得ながら解決案を構築し提案することができる。		
□3. 自らを律し、学び続ける力		
目標達成のための計画を立案・遂行できる能力を有し、工学に関連する知識・技術を、自主的かつ継続的に学習することができる。		
□4. 多様な視点から物事を捉え、異なる意見を理解する力		
持続可能な社会の実現に向けた科学技術の役割と責任を理解し、多様性を尊重しながら他者との共生に向けた行動をとることができる。		
□5. 専門的知識・技能を修得し、実践する力		
機械工学に関連する専門的知識と技能を修得し、それを用いた論理的な思考で課題を分析・解析できる。		
□6. 総合力		
修得した専門的知識を活用して工学的な基本的問題を解決し、その内容を論理的に説明できる。		
5. 達成目標		
番号	DP	達成目標
①	2	与えられた静力学の基礎について、その背景と要点をレポートにまとめることができる。
②	5	作図または成分表示を用いて力の合成・分解が計算できる。
③	5	物体に働く力について理解して、力・モーメントのつり合い式を導出して計算できる。
④	5	各種荷重を受ける棒に働く外力（反力・反モーメント）を計算できる。
⑤	5	各種荷重を受ける棒に生じる内力（軸力・応力）や変形量（伸び・ひずみ）を計算できる。
⑥		
⑦		

●達成目標と成績評価手段と比率の関係の例

7. 試験および成績評価の方法									
達成目標	DP	試験	小テスト	宿題	レポート*	発表*	作品*	その他	計
①	2			5	5				10
②	5	20		5					25
③	5	20		5					25
④	5	15		5					20
⑤	5	15		5					20
⑥									0
⑦									0
⑧									0
⑨									0
⑩									0
計		70	0	25	5	0	0	0	100

○成績評価は絶対評価で行うこととします。シラバスに明示した評価手段と比率を用い、評価の合計 100 点に対する 60 点を合格基準とします。成績評価区分は次の通りです。

(工学部・情報科学部・保健医療学部・未来デザイン学部履修規程第 16 条、薬学部履修規程第 8 条)

●工学部・情報科学部・保健医療学部・未来デザイン学部

得点率(%)	GP 表記	GP	成績区分	合否
90～100	S	4	秀	合格
80～89	A	3	優	
70～79	B	2	良	
60～69	C	1	可	
0～59	D	0	(不可)	不合格

●薬学部

得点率(%)	評価区分	成績指標
90～100	S (秀)	4
80～89	A (優)	3
70～79	B (良)	2
60～69	C (可)	1
0～59	D (不可)	0

* 失格の場合は X とする。

○卒業研究の評価については、学則第 12 条第 2 項に従い、成果を含めた評価の手段と基準を学科会議等で組織的に検討します。

○アセスメント・ポリシーに則り、達成目標、評価手段と比率、成績評価分布、成績評価で使用した資料などを学科教育自己点検会議にて組織的に点検し検討することで、客観的、厳格かつ公正な成績評価を行うための不断の改善・改革を行います。

2. GPA の活用

○GPA とは…わが国の大学で標準的に用いられている成績評価指標であり、各科目の成績から特定の方法によって算出されます。具体的には次のとおりとなります。

●工学部・情報科学部・保健医療学部・未来デザイン学部の GPA (履修規程第 17 条)

- (1) 当該セメスタでの学修結果に対する GPA-S (=GPA for Semester)
- (2) 当該セメスタまでの学修結果に対する GPA-T (=GPA for Terms)

GPA 算出対象科目は履修登録した科目である。ただし、教職科目及び単位認定された科目は除く。

$$GPA = \frac{\text{科目の(単位数} \times \text{GP)の総和}}{\text{履修登録し、評価を受けた科目の総単位数}}$$

●薬学部の GPA (履修規程第 9 条)

- (1) 当該学期での学修結果に対する GPA-S (=GPA for Semester)
- (2) 1 年次から当該学期までの学修結果に対する GPA-T (=GPA for Terms)

$$GPA = \frac{\text{科目の(単位数} \times \text{GP)の総和}}{\text{履修登録し、評価を受けた必修科目の総単位数}}$$

ただし、(1)、(2) どちらの場合も、自由科目、第 4 条第 8 項及び第 9 項により履修した科目並びに単位認定された科目は、GPA の対象から除外する。

○GPA を用いた指導、注意警告、退学勧告

●工学部・情報科学部・保健医療学部・未来デザイン学部

GPA-S の値が連続したセメスタで 1.00 を下回る場合、段階的に指導、注意警告、退学勧告を行います。(履修規程第 18 条)

●薬学部

GPA-S の値が連続したクォーターで 1.30 を下回る場合、段階的に指導、注意警告、退学勧告を行います。また、同一学年次に 2 回原級留年となった者にも退学勧告を行います。(履修規程第 17 条)

3. 履修上限単位数

単位の実質化*を考慮し、認定科目を除く卒業要件に含まれる全ての科目を対象として、各学年次とも履修登録単位数の上限を設定します。

●工学部・情報科学部・保健医療学部・未来デザイン学部

1 セメスタあたり 20 単位を上限とします。(履修規程第 6 条第 4 項)

ただし、以下の学科学年においては上限単位数を以下の表のとおりとします。

学部	学科	1年次	2年次	3年次	4年次
工学部	建築学科		前期のみ 22 単位	22 単位	
保健医療 学部	看護学科		22 単位		
	理学療法学科		22 単位		
	義肢装具学科			前期のみ 22 単位	
	臨床工学科	23 単位	22 単位		
	診療放射線学科	22 単位	22 単位		

なお、以下の GPA-T の学生は所定の手続きを行うことで、履修上限単位数を 4 単位を超えて履修することができます。

GPA-T	内容	要件
3.20~3.49	別に定める副専攻プログラムに指定する科目から上限単位数を 4 単位まで超えて履修登録をすることができる。	副専攻プログラムを履修している者に限る
3.50~4.00	上限単位数を 4 単位まで超えて履修登録をすることができる。	

●薬学部

各学年次学期においては20単位とし、2年次後期、4年次前期は22単位とします。(履修規程第4条第5項)

*「授業科目の単位数は、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容を持って構成する」と定められています(学則第12条)。例えば講義科目は15時間から30時間の授業をもって1単位となりますが、45時間に対して不足する分の学修は事前事後学修として授業時間外に行う必要があります。本学のシラバスでは、科目ごとに事前事後学修の内容と時間を明示していますので、必ず確認の上、取り組んでください。

4. 追加合格

履修した科目はすべて単位を修得することが求められますが、残念ながら不合格になってしまった場合、一定の条件を満たすことで以下の措置が認められることがあります。

○追加合格(工学部・情報科学部・保健医療学部・未来デザイン学部)

1年～3年次後期までの開講科目でGP表記がDであった場合、科目によって翌学期始講から1か月以内に追加合格(未提出レポートの提出等による)が認められることがあります。(HUSナビの履修ガイドを参照)

北海道科学大学アセスメントプラン － 3つのポリシーと学修成果の評価に関する方針－

本学ではディプロマ・ポリシー（DP）、カリキュラム・ポリシー（CP）、アドミッション・ポリシー（AP）の3つのポリシーに基づく教育の実施と不断の改善・改革を教育の内部質保証の中核ととらえます。本学のアセスメントプランは、この3つのポリシーそのものの妥当性と、これに基づく教育の実施にあたっての学修成果及び教育成果（大学、学位プログラム、授業科目、学生の達成度）の評価の方針を定めたものです。これらの結果をそれぞれの対象にフィードバックするとともに、全学的に集約して教育の改善を組織的に継続して行います。

■教育理念・人材養成の目的と DP の整合性（大学全体を対象とする評価）

教育目的達成度調査、大学 IR コンソーシアム学生調査（学生生活アンケート）、卒業時調査、外部試験などの結果と下記の学位プログラム、授業科目、学生に関する評価結果を全学的に集約し、大学全体での学修状況を評価します。また、学生の進路（就職率、国家資格取得率等）や卒業生アンケート、企業アンケート、産業界からの意見聴取などから、各学科の DP が社会における顕在・潜在ニーズを踏まえているかとともに、学修成果の水準設定の妥当性などを確認します。

■DP－CP の整合性と学修成果の評価基準

・学位プログラムを対象とする評価

単位取得状況・GPA・進級状況、及び学科の定める資格の取得状況などで、学年ごとの学修状況を評価します。また、毎年行う教育目的達成度調査、大学 IR コンソーシアム学生調査（学生生活アンケート）、及び1年次と高学年次に実施する汎用的基礎能力・志向性を測定する外部試験などを集計した結果から、学位プログラムを通じた学修成果・教育成果を評価します。さらに、学科所定科目の学修成果・単位取得状況と卒業研究などにより、学位プログラムの体系性と専攻分野における学修成果・教育成果の達成状況を総括的に評価します。

・授業科目を対象とする評価

成績分布、授業改善アンケート、及び教育目的達成度調査などの結果とカリキュラムマップ詳細版などを用いて、個々の科目の目標の達成度合、達成目標と DP との整合性、授業の内容・方法（能動的学修の充実や質的転換の観点）、成績評価手段などに関する評価を行います。

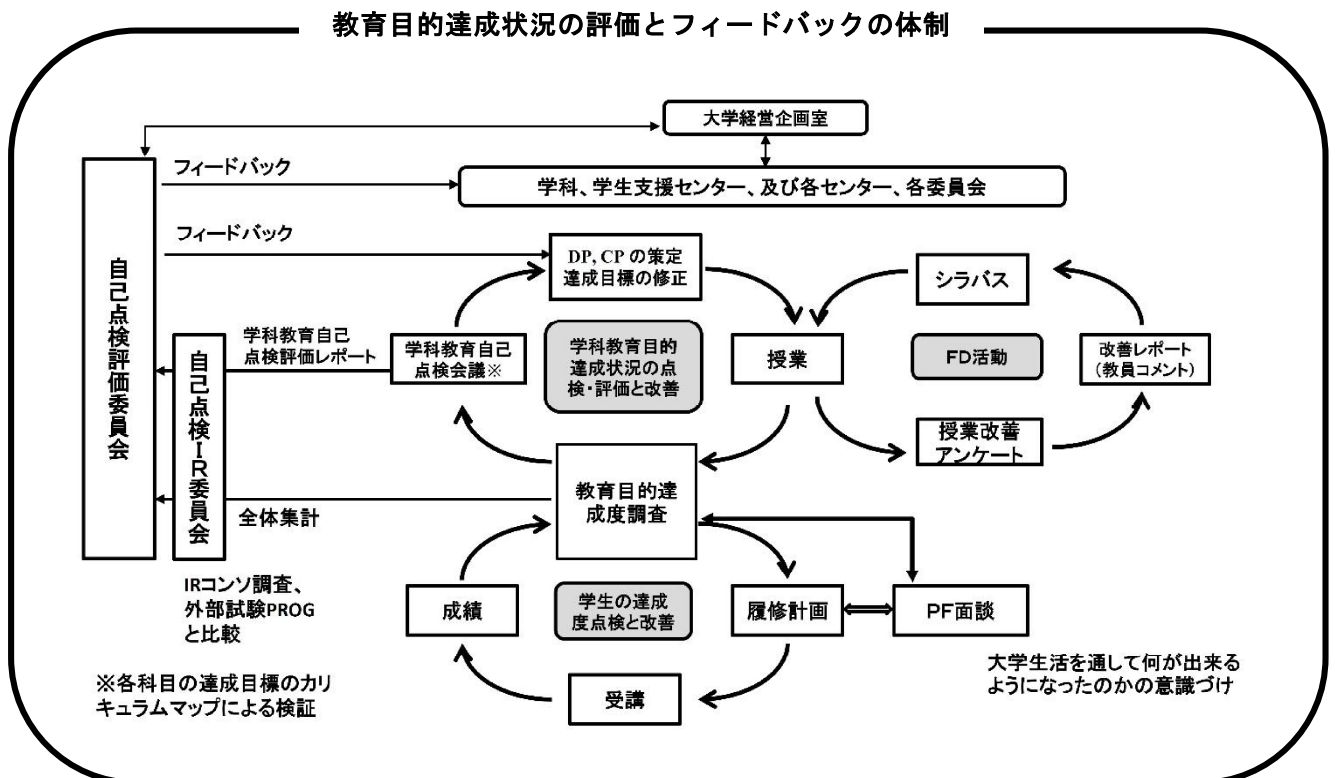
・学生を対象とする評価

教育目的達成度調査結果、学生調査などに基づくポートフォリオ面談を行い、学生個々の学修成果について長期的ルーブリックを用いた形成的評価を行います。

単位取得状況、GPA、卒業研究などにより、専攻分野における学生個々の学修成果を総括的に評価します。

■DP、CPに基づく教育とAPの整合性

入学生に求められる学習成果（学力の3要素）について、入学試験結果、新入生学力調査結果、及び1年前期に実施される汎用的技能・志向性に関する外部試験結果によって測定を行います。この結果に基づいて、各学科のAP及び入学者選抜方法の妥当性について評価します。



■学科教育自己点検会議における主要な検討事項

学生個々の学修の進捗とともに、

- ①学位プログラム全体の中で個々の授業科目が学生の能力育成のどの部分を担うかについて教職員の認識が十分か
- ②他の授業科目等と連携・関連し合いながら組織的に教育を展開できているか
- ③学修成果・教育成果を学位プログラム共通の考え方や尺度で評価し、その結果を学位プログラムの改善・改革につなげるというPDCAサイクルが回る構造になっているかについて、検証を行います。

*「学位プログラム」とは…大学等において、学生に学位を取得させるに当たり、当該学位のレベルと分野に応じて達成すべき能力を明示し、それを修得させるように体系的に設計した教育プログラム

経営情報学科 学位授与の方針と教育課程編成・実施の方針（科目配置）との関係

ディプロマポリシー	カリキュラムポリシー	授業科目
職業生活や社会生活で必要となる汎用的な技能として、自分の考えを論理的かつ適切な表現で説明、記述、発表する能力を有し、他者と適切なコミュニケーションを取ることができる。	日本語や外国語による適切なコミュニケーション能力、他者とコミュニケーションする能力を高める科目を配置します。	日本語表現法（作文、論文） <u>日本語表現法（読解、分析）</u> 英語（環境） <u>英語（科学）</u> <u>英語（時事）</u> <u>技術者のための英語</u>
組織の諸活動に関するデータや情報を適切に分析し活用する能力及び組織の諸活動において情報技術を主体的に運用することができる。	組織活動に必要な情報リテラシーや数量的スキルと統計分析及び情報処理に関する知識と技術の修得のもとに、情報技術を適切かつ効果的に活用できる能力を身に付ける科目を配置します。	<u>課題発見解決法Ⅰ（課題発見解決スキル）</u> <u>課題発見解決法Ⅱ（地域課題）</u> <u>情報処理法</u> <u>統計分析法</u> <u>データサイエンス</u> <u>AI入門</u> 健康科学 <u>経営科学</u> <u>オペレーションズ・リサーチ</u> <u>ロジカルシンキング</u> <u>経営情報演習Ⅰ</u>
職業人として必要な社会的責任と倫理を理解するとともに、豊かな人間性と現代社会に関する幅広い知識を修得し、それに基づいた行動ができる。	職業人に必要な生涯学習力、職業意識、社会人として求められる態度や志向性及び人間や社会に関する知識を深めるための科目を配置します。	<u>現代倫理学</u> SDGs（環境と自然） SDGs（環境と人権） SDGs（国際平和と民族） SDGs（多文化共生） 日本国憲法 <u>キャリア形成Ⅰ</u> <u>キャリア形成Ⅱ</u> <u>ビジネススキルⅠ</u> <u>ビジネススキルⅡ</u> <u>情報倫理</u>

<p>経営情報分野における基礎的な理論と関連諸分野に関する知識の理解のもとに組織の諸活動を主体的かつ合理的に実践することができる。</p>	<p>組織活動に必要なデータ処理や分析に関する知識と方法を修得し、情報やデータを適切に運用する能力並びに運営や管理に関する知識を用いて、組織活動を適切かつ主体的に実践するための能力を身に付ける科目を配置します。</p>	<p><u>フレッシュマンセミナー</u> <u>+Professional セミナー</u> <u>体育実技 I</u> <u>体育実技 II</u> <u>情報科学概論</u> <u>経営情報概論</u> <u>ICT リテラシー</u> <u>情報数理 I</u> <u>情報数理 II</u> <u>情報理論 I</u> <u>情報理論 II</u> <u>ハードウェアとソフトウェア</u> <u>アルゴリズムとデータ構造</u> <u>プログラミング言語と言語処理系</u> <u>プログラミング I</u> <u>プログラミング II</u> <u>データサイエンス演習 I</u> <u>データサイエンス演習 II</u> <u>ビジネスデータサイエンス</u> <u>人工知能と機械学習</u> <u>経営情報システム</u> Web プログラミング コンピュータシステム データベース 情報ネットワークとセキュリティ マルチメディア ソフトウェア開発基礎 ソフトウェア開発演習 <u>システム開発技術基礎</u> <u>システム開発技術演習</u> <u>機械学習演習</u> <u>デジタル技術活用</u> シミュレーション 経営管理システム 会計情報システム 原価管理システム 生産管理システム 経営情報分析 イノベーション・デザイン <u>経営情報研究法</u> <u>経営情報実践 I</u> <u>経営情報実践 II</u></p>
<p>目標達成のための計画を立案・遂行できる能力を有し、経営情報分野に関連する知識と技術を自主的かつ継続的に学修するのみならず、他分野で活用する方法について探求することができる。</p>	<p>組織活動に関する現地調査や資料分析などの基本的な調査方法と分析手法及び課題を探求するための研究能力を身に付ける科目を配置します。</p>	<p><u>経営情報演習 II</u> <u>卒業研究</u></p>
<p>組織の諸活動に関する課題を探求するための研究意識と組織活動の向上に資するための基礎的な調査方法や分析手法などの研究能力を修得し、実践することができる。</p>	<p>組織活動に関する現地調査や資料分析などの基本的な調査方法と分析手法及び課題を探求するための研究能力を身に付ける科目を配置します。</p>	<p><u>経営情報演習 II</u> <u>卒業研究</u></p>

※下線：必修科目

経営情報学科 カリキュラムツリー

	1年次		2年次		3年次		4年次	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
DP6						経営情報演習Ⅱ	卒業研究	
DP5			経営情報システム		経営情報実践Ⅰ	経営情報実践Ⅱ	イノベーション・デザイン	
				システム開発技術基礎	経営情報研究法	原価管理システム	経営情報分析	
				オペレーションズ・リサーチ	経営情報演習Ⅰ	経営管理システム		
				データサイエンス演習Ⅰ	データサイエンス演習Ⅱ	生産管理システム		
	情報数理Ⅰ	プログラミング言語と言語処理系	プログラミングⅠ	プログラミングⅡ	Webプログラミング	ビジネスデータサイエンス	シミュレーション	
	ICTリテラシー	情報数理Ⅱ	コンピュータシステム	情報ネットワークとセキュリティ	マルチメディア	人工知能と機械学習	機械学習演習	
			アルゴリズムとデータ構造			ソフトウェア開発基礎	ソフトウェア開発演習	
	経営情報概論	ハードウェアとソフトウェア	情報理論Ⅰ	データベース				デジタル技術活用
	情報科学概論		情報理論Ⅱ	情報理論Ⅱ				
			情報倫理					
DP4		経営科学				人工知能と機械学習		
	経営情報概論			情報ネットワークとセキュリティ				
	情報科学概論		情報倫理					
	SDGs (環境と自然)	SDGs (環境と自然)	SDGs (環境と自然)					
	SDGs (環境と人権)	SDGs (環境と人権)	SDGs (環境と人権)					
	SDGs (国際協力)	SDGs (国際協力)	SDGs (国際協力)		日本国憲法			
	SDGs (多文化共生)	SDGs (多文化共生)	SDGs (多文化共生)	課題発見解決Ⅱ (地域課題)	現代倫理学	ビジネススキルⅠ	ビジネススキルⅡ	
		キャリア形成Ⅰ	キャリア形成Ⅱ					
DP3					経営情報研究法			
	情報科学概論		プログラミングⅠ	データサイエンス演習Ⅰ	マルチメディア		デジタル技術活用	
	体育実技Ⅰ	体育実技Ⅱ			Webプログラミング			
	健康科学							
	フレッシュマンセミナー			Professionalセミナー				
		キャリア形成Ⅰ	キャリア形成Ⅱ			ビジネススキルⅠ	ビジネススキルⅡ	
DP2			経営情報システム			会計情報システム		
		経営科学				経営情報実践Ⅱ	イノベーション・デザイン	
						原価管理システム		
					経営情報演習Ⅰ	経営情報演習Ⅱ	経営情報分析	
					システム開発技術演習	経営管理システム		
	オペレーションズ・リサーチ						ロジカルシンキング	
	データサイエンス演習Ⅰ							シミュレーション

	1年次		2年次		3年次		4年次	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
DP2	情報数理Ⅰ ICTリテラシー 経営情報概論 情報処税法 統計分析法 健康科学	プログラミング言語と言語処理 情報数理Ⅱ ハードウェアとソフトウェア データサイエンス 課題発見解決法Ⅰ (課題発見解決スキル) キャリア形成Ⅰ	プログラミングⅠ コンピュータシステム アルゴリズムとデータ構造 情報理論Ⅰ AI入門 課題発見解決法Ⅱ (地域課題) キャリア形成Ⅱ	プログラミングⅡ データベース	ビジネススキルⅠ	ビジネススキルⅡ	機械学習演習 ソフトウェア開発演習	
DP1	英語(環境) 英語(科学) 日本語表現法 (作文、論文) フレッシュマンセミナー	英語(時事) 日本語表現法 (読解、分析) 課題発見解決法Ⅰ (課題発見解決スキル) 技術者のための英語	課題発見解決法Ⅱ (地域課題)		経営情報実践Ⅰ		卒業研究 ロジカルシンキング	

必修
選択
選択必修

HUSスタンダード科目
共通科目
専門教育科目

2027年度入学生 経営情報学科 カリキュラムマップ

経営情報学科

(1/3)

系 列	授 業 科 目 名	単 位 数		ディプロマ・ポリシー											備 考		
		必修	選択	コミュニケーション力			課題発見解決力			自らを律し、学び続ける力		多様な視点から物事を捉え、異なる意見を理解する力		専門的知識・技能を修得し、実践する力		総合力	
				日本語力	外国語力	自己表現 意見交換 調整力	情報リテラシー、科学的思考力	論理的思考力 問題解決力	チームワーク リーダーシップ	自己管理能力 自己向上力	知的好奇心	社会的責任 と倫理	人類の文化 社会と自然 多様性の理解	専門基礎力			専門応用力
H U S タ ン ダ ー ド 科 目	日本語表現法（作文、論文）	1		◎													
	日本語表現法（読解、分析）	1		◎													
	英語（環境）	1			◎												
	英語（科学）	1			◎												
	英語（時事）	1			◎												
	課題発見解決法Ⅰ（課題発見解決スキル）	1				○		◎	◎								
	課題発見解決法Ⅱ（地域課題）	1				○		◎	◎				○				
	情報処理法	1					◎										
	統計分析法	2					◎										
	データサイエンス	2					◎	◎									
	AI入門	2					◎	◎									
	フレッシュマンセミナー	1				○				◎	◎						
	+Professionalセミナー	1								◎	◎						
	現代倫理学	2										◎					
SDGs（環境と自然）		1									◎	◎					
SDGs（環境と人権）		1									◎	◎					
SDGs（国際平和と民族）		1									◎	◎					
SDGs（多文化共生）		1									◎	◎					
（小 計）	(18)	(4)															
共 通 科 目	体育実技Ⅰ		1							◎							
	体育実技Ⅱ		1							◎							
	健康科学		2				◎			○							
	日本国憲法		2									◎					
	キャリア形成Ⅰ		1					○		○		◎					
	キャリア形成Ⅱ		1					○		○		◎					
	ビジネススキルⅠ		2					○		○		◎					
	ビジネススキルⅡ		2					○		○		◎					
技術者のための英語		1															
（小 計）	(7)	(6)															
専 門 教 育 科 目	情報科学概論		2								○		○	◎			
	経営情報概論		2					○				○	◎				
	ICTリテラシー		2				○						◎				
	情報数理Ⅰ		2				○						◎				
	情報数理Ⅱ		2					○					◎				
	情報倫理		2									◎		○			
（小 計）	(12)	(0)															

いずれか2科目
選択必修

系 列	授 業 科 目 名	単 位 数		ディプロマ・ポリシー										備 考			
		必修	選択	コミュニケーション力			課題発見解決力			自らを律し、 学び続ける力		多様な視点から 物事を捉え、異なる 意見を理解する力			専門的知識・技能を 修得し、実践する力		総合力
				日本語力	外国語力	自己表現 意見交換 調整力	情報リテラ シー、科学 的思考力	論理的思考力 問題解決力	チームワーク リーダーシッ プ	自己管理能力 自己向上力	知的好奇心	社会的責任 と倫理	人類の文化 社会と自然 多様性の理解		専門基礎力	専門応用力	
専 門 基 幹 門 科 目	情報理論Ⅰ	2						○							◎		
	情報理論Ⅱ	2													◎	○	
	ハードウェアとソフトウェア	2				○									◎		
	アルゴリズムとデータ構造	2					○								◎		
	プログラミング言語と言語処理系	2					○								◎		
	プログラミングⅠ	2				○			○						◎		
	プログラミングⅡ	2					○									◎	
	データサイエンス演習Ⅰ	2					○		○						◎		
	データサイエンス演習Ⅱ	2							○							◎	
	ビジネスデータサイエンス	2					○									◎	
人工知能と機械学習	2										○				◎		
経営科学	2						◎					○					
経営情報システム	2							○							◎		
(小 計)		(26)	(0)														
教 育 展 開 科 目	Webプログラミング		2							○					◎		
	コンピュータシステム		2			○									◎		
	データベース		2				○									◎	
	情報ネットワークとセキュリティ		2									○				◎	
	マルチメディア		2								○				◎		
	ソフトウェア開発基礎		2												◎	○	
	ソフトウェア開発演習		2						○						◎	◎	
	システム開発技術基礎	2													◎	○	
	システム開発技術演習	2							○							◎	◎
	機械学習演習		2					○								◎	
	デジタル技術活用		2									○				◎	
	シミュレーション		2					○								◎	
	オペレーションズ・リサーチ		2					◎								◎	
	経営管理システム		2						○							◎	
	会計情報システム		2					○								◎	
原価管理システム		2					○								◎		
生産管理システム		2													◎		
経営情報分析		2				○									◎		
ロジカルシンキング		2			○		◎										
イノベーション・デザイン		2						○								◎	
(小 計)		(4)	(36)														

経営情報学科

(3/3)

系 列	授 業 科 目 名	単 位 数		ディプロマ・ポリシー										備 考			
		必修	選択	コミュニケーション力			課題発見解決力			自らを律し、 学び続ける力		多様な視点から 物事を捉え、異なる 意見を理解する力			専門的知識・技能を 修得し、実践する力		総合力
				日本語力	外国語力	自己表現 意見交換 調整力	情報リテラ シー、科学 的思考力	論理的思考力 問題解決力	チームワーク リーダーシッ プ	自己管理能力 自己向上力	知的好奇心	社会的責任 と倫理	人類の文化 社会と自然 多様性の理解		専門基礎力	専門応用力	
専 門 教 育 科 目	経営情報研究法	2									○			◎			
	経営情報演習Ⅰ	2					◎								○		
	経営情報演習Ⅱ	2							○							◎	
	経営情報実践Ⅰ		2			○									◎		
	経営情報実践Ⅱ		2						○						◎		
	卒業研究	8		○		○										◎	
	(小 計)	(14)	(4)														
合 計		81	50														

(経営課題を理解した上で、データ分析や情報システムの企画・構築・運用を通じて、組織の業務改革やDXを技術面から推進できる人材)

	1年				2年				3年				4年										
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期								
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4							
H U S タ ン ダ ー ド	日本語表現法(作文、論述) 1 日本語表現法(読解、分析) 1 英語(環境) 1 英語(科学) 1 英語(時事) 1 課題発見解決法Ⅰ(課題発見解決スキル) 1 情報処理法 1 データサイエンス 2 統計分析法 2 フレッシュマンセミナー 1 SDGs(環境と自然) 1 SDGs(環境と人権) 1 SDGs(国際平和と民族) SDGs(国際平和と民族) SDGs(多文化共生) SDGs(多文化共生)				課題発見解決法Ⅱ(地域課題) 1 AI入門 2 現代倫理学 2 +Professionalセミナー 1																		
	体育実技Ⅰ 1 健康科学 2 キャリア形成Ⅰ 1 技術者のための英語 1				日本国憲法 2 キャリア形成Ⅱ 1				ビジネススキルⅠ 2 ビジネススキルⅡ 2														
共通科目	必修7・選択必修1・選択3				必修4				必修2				必修2										
専 門 教 育 科 目	専門基礎科目 情報科学概論 2 専門基礎科目 経営情報概論 2 専門基礎科目 ハードウェアとソフトウェア 2 専門基礎科目 ICTリテラシー 2 専門基礎科目 情報教理Ⅰ 2 情報教理Ⅱ 2 専門基礎科目 プログラミング言語と言語処理系 2 専門基礎科目 経営科学 2				専門基礎科目 情報倫理 2 専門基礎科目 情報理論Ⅰ 2 情報理論Ⅱ 2 専門展開科目 データベース 2 専門基礎科目 アルゴリズムとデータ構造 2 専門展開科目 コンピュータシステム 2 情報ネットワークとセキュリティ 2 専門基礎科目 プログラミングⅠ 2 プログラミングⅡ 2 専門基礎科目 データサイエンス演習Ⅰ 2 専門展開科目 オペレーションズ・リサーチ 2 専門展開科目 システム開発技術基礎 2 専門基礎科目 経営情報システム 2				専門展開科目 マルチメディア 2 専門展開科目 Webプログラミング 2 ソフトウェア開発基礎 2 専門基礎科目 人工知能と機械学習 2 専門基礎科目 データサイエンス演習Ⅱ 2 ビジネスデータサイエンス 2 専門展開科目 システム開発技術演習 2 生産管理システム 2 専門展開科目 経営管理システム 2 専門研究科目 経営情報演習Ⅰ 2 経営情報演習Ⅱ 2 専門研究科目 経営情報研究法 2 原価管理システム 2 専門研究科目 経営情報実践Ⅰ 2 経営情報実践Ⅱ 2 専門展開科目 会計情報システム 2				専門展開科目 デジタル技術活用 2 専門展開科目 ソフトウェア開発演習 2 専門展開科目 機械学習演習 2 専門展開科目 シミュレーション 2 専門展開科目 ロジカルシンキング 2 専門研究科目 卒業研究 8										
	必修8				必修8				必修10・選択2				必修8・選択6				必修4・選択10						
必修15・選択必修1・選択3				必修15・選択必修1				必修14・選択2				必修11・選択8				必修10・選択6				必修8・選択12			
35(必修30・選択必修2・選択3)				35(必修25・選択10)				36(必修18・選択18)				18(必修8・選択10)				124(必修81・選択必修2・選択41)							

■ 必修科目
 ■ 選択科目
 ■ 選択必修科目

(注1) 科目名の右側についている数値は単位数を示す。

情報科学部 経営情報学科 履修モデルB

(情報技術やデータの特性を理解した上で、それらを経営判断や事業戦略の立案・実行に活かし、組織の競争力強化や価値創造を主導できる人材)

	1年				2年				3年				4年							
	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期					
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4				
H U S タ ン ダ ー ド	日本語表現法(作文、論述) 1 日本語表現法(読解、分析) 1 英語(環境) 1 英語(科学) 1 英語(時事) 1 課題発見解決法Ⅰ(課題発見解決スキル) 1 情報処理法 1 データサイエンス 2 統計分析法 2 フレッシュマンセミナー 1 SDGs(環境と自然) 1 SDGs(環境と人権) 1 SDGs(国際平和と民族) 1 SDGs(国際平和と民族) 1 SDGs(多文化共生) 1 SDGs(多文化共生) 1				課題発見解決法Ⅱ(地域課題) 1 AI入門 2 現代倫理学 2 +Professionalセミナー 1															
	健康科学 2 体育実技Ⅱ 1 キャリア形成Ⅰ 1 技術者のための英語 1				日本国憲法 2 キャリア形成Ⅱ 1				ビジネススキルⅠ 2 ビジネススキルⅡ 2											
共通科目	必修7・選択必修1・選択2				必修4				必修3・選択2				必修2							
専 門 教 育 科 目	専門基礎科目 情報科学概論 2 専門基礎科目 経営情報概論 2 専門基礎科目 ハードウェアとソフトウェア 2 専門基礎科目 ICTリテラシー 2 専門基礎科目 情報数理Ⅰ 2 専門基礎科目 情報数理Ⅱ 2 専門基礎科目 プログラミング言語と言語処理系 2 専門基礎科目 経営科学 2				専門基礎科目 情報倫理 2 専門基礎科目 情報理論Ⅰ 2 専門基礎科目 アルゴリズムとデータ構造 2 専門基礎科目 コンピュータシステム 2 専門基礎科目 プログラミングⅠ 2 専門基礎科目 経営情報システム 2				専門基礎科目 情報理論Ⅱ 2 専門基礎科目 データベース 2 専門基礎科目 情報ネットワークとセキュリティ 2 専門基礎科目 プログラミングⅡ 2 専門基礎科目 データサイエンス演習Ⅰ 2 専門基礎科目 オペレーションズ・リサーチ 2 専門基礎科目 システム開発技術基礎 2				専門基礎科目 マルチメディア 2 専門基礎科目 Webプログラミング 2 専門基礎科目 人工知能と機械学習 2 専門基礎科目 データサイエンス演習Ⅱ 2 専門基礎科目 システム開発技術演習 2				専門基礎科目 デジタル技術活用 2 専門基礎科目 ソフトウェア開発基礎 2 専門基礎科目 ビジネスデータサイエンス 2 専門基礎科目 生産管理システム 2 専門基礎科目 経営管理システム 2 専門基礎科目 経営情報演習Ⅰ 2 専門基礎科目 経営情報研究 2 専門基礎科目 経営情報実践Ⅰ 2			
	専門展開科目 データサイエンス 2 専門展開科目 シミュレーション 2 専門展開科目 ロジカルシンキング 2 専門展開科目 経営情報分析 2 専門展開科目 イノベーション・デザイン 2				専門展開科目 データベース 2 専門展開科目 情報ネットワークとセキュリティ 2 専門展開科目 プログラミングⅡ 2 専門展開科目 システム開発技術基礎 2				専門展開科目 マルチメディア 2 専門展開科目 情報ネットワークとセキュリティ 2 専門展開科目 Webプログラミング 2 専門展開科目 ソフトウェア開発基礎 2 専門展開科目 人工知能と機械学習 2 専門展開科目 データサイエンス演習Ⅱ 2 専門展開科目 システム開発技術演習 2				専門展開科目 デジタル技術活用 2 専門展開科目 ソフトウェア開発基礎 2 専門展開科目 ビジネスデータサイエンス 2 専門展開科目 生産管理システム 2 専門展開科目 経営管理システム 2 専門展開科目 経営情報演習Ⅰ 2 専門展開科目 経営情報研究 2 専門展開科目 経営情報実践Ⅰ 2							
必修8				必修8				必修10・選択2				必修8・選択6				必修8・選択6				
必修15・選択必修1・選択2				必修15・選択必修1・選択1				必修14・選択2				必修11・選択8				必修10・選択6				
必修10・選択6				必修8・選択12				必修10・選択6				必修8・選択12				必修4・選択10				
必修4・選択10				必修4				必修4				必修4				必修4				
35(必修30・選択必修2・選択3)				35(必修25・選択10)				36(必修18・選択18)				18(必修8・選択10)				124(必修81・選択必修2・選択41)				

■ 必修科目
 ■ 選択科目
 ■ 選択必修科目

(注1) 科目名の右側についている数値は単位数を示す。

教育上主要な授業科目及び主要授業科目への基幹教員の配置
(教育上主要と認める授業科目 39 科目)

	教育上主要と認める授業科目	担当基幹教員
「HUS スタンダード科目」 における主要授業科目	日本語表現法（作文、論文） 日本語表現法（読解、分析） 英語（環境） 英語（科学） 英語（時事） 課題発見解決法Ⅰ（課題発見解決スキル） 課題発見解決法Ⅱ（地域課題） 情報処理法 統計分析法 データサイエンス AI 入門 フレッシュマンセミナー +Professional セミナー 現代倫理学	丹羽孔明 鈴木育男 他 6 名
「専門教育科目」における 主要授業科目	【専門基礎科目】 情報科学概論 経営情報概論 ICTリテラシー 情報数理Ⅰ 情報数理Ⅱ 情報倫理 【専門基幹科目】 情報理論Ⅰ 情報理論Ⅱ ハードウェアとソフトウェア アルゴリズムとデータ構造 プログラミング言語と言語処理系 プログラミングⅠ プログラミングⅡ データサイエンス演習Ⅰ データサイエンス演習Ⅱ ビジネスデータサイエンス 人工知能と機械学習 経営科学 経営情報システム 【専門展開科目】 システム開発技術基礎 システム開発技術演習 【専門研究科目】 経営情報研究法 経営情報演習Ⅰ 経営情報演習Ⅱ 卒業研究	鈴木育男 鈴木育男、谷川寿郎 瀬之口潤輔 鈴木育男 鈴木育男 瀬之口潤輔 長坂晃朗 長坂晃朗 瀬之口潤輔 瀬之口潤輔 鈴木育男 丹羽孔明 丹羽孔明 加地太一 加地太一 加地太一 長坂晃朗 谷川寿郎 谷川寿郎 丹羽孔明 丹羽孔明 鈴木育男 瀬之口潤輔 川上敬 鈴木育男 他 6 名

学校法人北海道科学大学定年規程

(目的)

第1条 この規程は、学校法人北海道科学大学（以下「法人」という。）就業規則第30条の規定に基づき、職員の定年に関し必要な事項を定める。

(定年)

第2条 職員の定年は次のとおりとする。

- (1) 大学の教授・准教授・講師及び助教 63歳
- (2) 高校の校長・副校長・教頭・教諭・養護教諭・助教諭・養護助教諭及び実習助手 63歳
- (3) 前2号以外の職員 60歳

2 定年による退職の日は、定年に達した日の属する年度の末日とする。

(定年退職者の再任用)

第3条 前条に規定する定年退職者のうち、本人が引続き勤務することを希望する場合は、再任用することができる。

2 再任用に関する事項は、別に定める。

(適用除外)

第4条 この規程は、学長その他の職にある職員で理事長において法人の運営上特に必要と認められた職員には適用しない。

(規程の改廃)

第5条 この規程の改廃は、常任理事会の議を経て理事長が決定する。

附 則

- 1 この規程は、昭和59年4月1日から施行する。
- 2 昭和51年4月1日から施行の「停年職員再雇用に関する規程」及び「職員再雇用等に関する審査基準」はこれを廃止する。
- 3 昭和51年4月1日から施行の「特別職員任用規程」及び「嘱託職員任用規程」はこれを廃止する。

この規程は、昭和61年10月1日から施行する。

この規程は、平成7年4月1日から施行する。

この規程は、平成18年4月1日から施行する。ただし、第3条第1項中「本人が引続き勤務することを希望する場合は」とあるのを大学の教員（教授、助教授、講師）で平成19年3月31日、平成20年3月31日、平成21年3月31日及び平成22年3月31日の定年退職者は、「学園の運営上必要と認められる場合は、所属長の上申により理事長の承認を得て」と読み替えて適用する。

- 1 この規程は、平成19年4月1日から施行する。
- 2 第3条第1項中「本人が引続き勤務することを希望する場合は」とあるのを大学の教員（教

第1編学校法人4-20 定年規程

授、准教授、講師、助教)で平成20年3月31日、平成21年3月31日及び平成22年3月31日の定年退職者は、「学園の運営上必要と認められる場合は、所属長の上申により理事長の承認を得て」と読み替えて適用する。

この規程は、平成24年4月1日から施行する。

この規程は、平成26年4月1日から施行する。

この規程は、2025年4月1日から施行する。

学校法人北海道科学大学定年退職者の再任用に関する規程

(目的)

第1条 この規程は、学校法人北海道科学大学（以下「法人」という。）定年規程第3条の規定に基づき、定年退職者の再任用に関し必要な事項を定める。

(定義)

第2条 この規程において「再任用」とは、法人定年規程第2条に定める定年による退職の日（以下「定年退職日」という。）に退職し、定年退職日の翌日に改めて法人に採用する制度をいう。

(身分)

第3条 再任用者の身分は、特任職員とする。

(再任用基準)

第4条 再任用することができる者は、定年退職後も引き続き勤務することを希望する職員とする。

(再任用手続)

第5条 再任用を希望する職員は、定年退職年度の8月末日までに別に定める「再任用願」を所属長を経て、理事長に提出しなければならない。

2 前項の願出を行った職員について、その申出時において前条に規定する再任用基準を満たす職員については、10月末日までに再任用の内定を通知する。ただし、当該職員について、定年退職日までの間に前条の基準を満たさないこととなった場合は、その内定を取り消すものとする。

3 定年退職日までに再任用の内定を取り消されなかった職員については、所定の手続きを経て再任用するものとする。

(再任用後の職務等)

第6条 再任用後の職種及び職名は、別表に掲げる職種及び職名から任命し、その職務を行う。

2 前項の規定にかかわらず、理事長において法人の運営上特に必要と認めた場合は、別表以外の職名等に任命することができるものとする。

(再任用後の処遇)

第7条 再任用後の処遇は、特任職員の任用に関する規程による。

(規程の改廃)

第8条 この規程の改廃は、常任理事会の議を経て理事長が決定する。

附 則

- 1 この規程は、平成18年4月1日から施行し、平成19年3月31日の定年退職者から適用する。
- 2 第6条第2項中「引続き勤務を希望する者については」とあるのを大学の教員（教授、助教授、講師）で平成19年3月31日、平成20年3月31日、平成21年3月31日及び平成22年3月31日の定年退職者については「引続き法人の運営上必要と認められる者については、所属長の上申により理事長の承認を得て」に、「65歳」とあるのを大学の教員（教授、助教授、講師）については平成23年3月31日及び平成24年3月31日の定年退職者は「64歳」、その他の職員については、平成19年3月31日の定年退職者は「63歳」、平成20年3月31日及び平成21年3月31日の定年退職者は「64歳」と読み替えて適用する。
- 3 前項前段の規定を適用する者は、第4条及び第5条の規定は適用しない。
- 4 この規程は、次の各号に掲げる者については、平成19年4月1日から適用する。ただし、第4条、第5条及び第6条第2項の規定は適用しない。
 - (1) 平成18年度特任職員として在職する者で、平成19年度において更新する者
 - (2) 法人の職員以外の者で、定年規程第2条に規定する定年を超えて採用する者
- 5 平成7年4月1日から施行の「特任職員の任用に関する内規」は、平成19年3月31日をもってこれを廃止する。
 - 1 この規程は、平成19年4月1日から施行する。
 - 2 第6条第2項中「引続き勤務を希望する者については」とあるのを大学の教員（教授、准教授、講師、助教）で平成20年3月31日、平成21年3月31日及び平成22年3月31日の定年退職者については「引続き法人の運営上必要と認められる者については、所属長の上申により理事長の承認を得て」に、「65歳」とあるのを大学の教員（教授、准教授、講師、助教）については平成23年3月31日及び平成24年3月31日の定年退職者は「64歳」、その他の職員については、平成20年3月31日及び平成21年3月31日の定年退職者は「64歳」と読み替えて適用する。

この規程は、平成21年4月1日から施行する。

この規程は、平成24年4月1日から施行する。

この規程は、平成25年4月1日から施行する。

この規程は、平成26年4月1日から施行する。ただし、施行日の前日において、特任職員となっている職員については、なお従前の例によるものとする。

この規程は、平成30年4月1日から施行する。

この規程は、2022年4月1日から施行する。

この規程は、2025年4月1日から施行する。

別表

職種及び職名

所 属	職 種	職 名
大学	教育職	教授、准教授、講師、助教、助手
	教育系技術職	技師
高校	教育職	教諭
	教育系技術職	技師
各校共通	事務職	主任、主事
	事務系技術職	技師

学校法人北海道科学大学特任職員の任用に関する規程

(目的)

第1条 この規程は、学校法人北海道科学大学（以下「法人」という。）における特任職員の任用に関して、必要な事項を定めることを目的とする。

(定義)

第2条 特任職員とは次のいずれかの者をいう。

- (1) 法人定年退職者の再任用に関する規程に基づき、再任用された者（以下「再任用者」という。）
- (2) 法人定年規程第2条に定める定年による退職の日を超えた後に法人に採用された者（以下「特任採用者」という。）
- (3) 法人就業規則第2章第5節（定年）、第4章（勤務）及び第5章（給与）を適用せず、個別に定め採用された者（以下「特例採用者」という。）

(任用手続等)

第3条 特任採用者及び特例採用者の選考方法及び任用手続は、原則として専任の教職員と同様とする。

2 再任用者の任用手続は、定年退職者の再任用に関する規程によるものとする。

(雇用契約期間)

第4条 特任職員の雇用契約期間は、1年以内とし、その満了日は当該年度の末日以前の日とする。

2 雇用契約期間は、労働契約書において定める。

3 前項の雇用契約は、更新することができるものとする。

4 採用後、6か月間は試用期間とする。ただし、再任用者及び前項により雇用契約を更新した場合は、試用期間を設けないものとする。

5 雇用契約を更新する場合における更新後の雇用契約期間は、1年を超えない範囲内とする。ただし、その雇用契約期間は、65歳に達した日の属する年度の末日を超えることができない。

6 前項ただし書の規定にかかわらず、理事長において法人の運営上特に必要と認められた者は、前項の年齢に達した日の属する年度の末日を超えて80歳に達した日の属する年度の末日を限度として更新することができる。

7 雇用契約の更新をしない場合は、雇用契約期間満了日の30日前までに当該職員に通知する。

(雇用契約の更新可否)

第5条 特任採用者及び特例採用者の雇用契約を更新する場合の可否は、次の各号により判断し決定する。

(1) 雇用契約期間満了時の担当業務量

(2) 当該職員的能力、勤務成績及び勤務態度等

(3) 当該設置校の運営状況

(4) 法人の経営状況

- 2 再任用者のうち、当該雇用契約の終了時において、65歳に達していない者が、雇用契約の更新を希望する場合は、前項にかかわらず雇用契約を更新する。

(無期転換)

第6条 法人における有期の雇用契約期間を通算した期間（以下「通算雇用契約期間」という）が5年を超える契約を締結した特任採用者及び特例採用者から期間の定めのない雇用契約への転換の申込みがあった場合は、申込みのあった雇用契約の終了日の翌日から期間の定めのない雇用契約に転換するものとする。なお、通算雇用契約期間の算出方法は、労働契約法第18条及びその関連法令に基づくものとする

- 2 前項により期間の定めのない雇用契約になった者の定年年齢は、期間の定めのない雇用契約に転換した日の年齢に応じて、次の各号のとおりとする。なお、定年年齢に達した年度の末日を定年退職日とする。

(1) 65歳未満の者 定年年齢65歳

(2) 65歳以上68歳未満の者 定年年齢68歳

(3) 68歳以上71歳未満の者 定年年齢71歳

(4) 71歳以上74歳未満の者 定年年齢74歳

(5) 74歳以上77歳未満の者 定年年齢77歳

(6) 77歳以上80歳未満の者 定年年齢80歳

(給 与)

第7条 特任職員の給与は、給料と諸手当とする。

- 2 理事長特別補佐、参与及び再任用役職者給与規程第2条に定める役職者の給与については、別に定める。
- 3 給料月額は、別表に定める額とする。ただし、当該特任職員の年間所定勤務時間が、法人就業規則に基に算出された年間所定勤務時間と比べ差異がある場合は、差異相当の調整を行うことができる。
- 4 前項の給料月額は、昇給はしないものとする。ただし、給与規程の改正が行われた場合は、それに準じて改定を行うことができるものとする。
- 5 諸手当は、給与規程を準用する。ただし、調整手当、扶養手当、住居手当、期末手当、勤勉手当、寒冷地手当、初任給調整手当、義務教育等教員特別手当及び教職調整手当は支給しないものとする。

(退職金)

第8条 退職金は支給しないものとする。ただし、雇用契約書等において個別に契約している場合は、当該契約による。

(就業規則等の適用)

第9条 この規程及び労働契約書に規定するもの以外は、次の各号に掲げるものを除き就業規

則及び関連規程を適用する。

- (1) 就業規則第30条（定年）
- (2) 就業規則第30条の2（選択定年）
- (3) 就業規則第69条（退職手当）

（事務所管）

第10条 この規程に関する事務の所管は、総務部教職員課とする。

（規程の改廃）

第11条 この規程の改廃は、常任理事会の議を経て理事長が決定する。

附 則

この規程は、2025年4月1日から施行する。

別表1

給料月額

所 属	職 名	給料月額
大学	教授	541,700円
	准教授	375,000円
	講師	333,400円
	助教	316,700円
	助手	291,700円
	技師（教育系）	291,700円
高校	教諭	375,000円
	技師（教育系）	291,700円
各校共通	課長、事務長、副室長	375,000円
	主任、課長補佐	316,700円
	主事	291,700円
	技師（事務系）	291,700円

※表に記載された以外の職名についてはその都度決定

定年を延長する基幹教員の補充計画

退職予定	令和12年度（完成年度）末
	<p>○開設時点で定年年齢を超え、「定年退職者の再任用に関する規程」及び「特任職員 員の任用に関する規程」により雇用する教授3人が退職予定。</p> <p>【情報学分野】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・加地太一 ・川上 敬 <p>【経営学分野】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・谷川寿郎 <p>○完成年度の3月31日時点までに定年年齢に達し、「定年退職者の再任用に関する 規程」により雇用する教授2人が退職予定。</p> <p>【情報学分野】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・瀬之口潤輔 ・長坂晃朗
採用予定	令和13年4月
	<ul style="list-style-type: none"> ・公募等により、加地太一の後任として、博士の学位、大学等における教育歴、情 報学分野に関する研究実績を有する教授を採用する。 ・公募等により、川上 敬の後任として、博士の学位、大学等における教育歴、情 報学分野に関する研究実績を有する教授を採用する。 ・公募等により、谷川寿郎の後任として、博士の学位、大学等における教育歴、経 営学分野に関する研究実績を有する教授を採用する。 ・公募等により、瀬之口潤輔の後任として、博士の学位、大学等における教育歴、 情報学分野に関する研究実績を有する教授を採用する。 ・公募等により、長坂晃朗の後任として、博士の学位、大学等における教育歴、情 報学分野に関する研究実績を有する教授を採用する。

教育研究実施組織編制の将来構想
(基幹教員の採用計画)

採用予定	令和9年度～令和12年度(完成年度)末
	<ul style="list-style-type: none">・令和10年度末までに、公募等により、博士の学位、専門教育科目を担当するに足る研究業績を有する中堅の基幹教員1人を採用する。・令和10年度末までに、公募等により、博士又は修士の学位、専門教育科目を担当するに足る研究業績を有する中堅の基幹教員1人を採用する。

令和4年4月1日 施行 現在施行

学校教育法施行規則等の一部を改正する省令（令和三年文部科学省令第十四号）

Law RevisionID:416M60000080020_20220401_503M60000080014

平成十六年文部科学省令第二十号

高等学校設置基準**第四章 施設及び設備****（校舎の面積）**

第十三条 校舎の面積は、法令に特別の定めがある場合を除き、全日制の課程若しくは定時制の課程の別又は学科の種類にかかわらず、次の表に定める面積以上とする。ただし、地域の実態その他により特別の事情があり、かつ、教育上支障がない場合は、この限りでない。

収容定員	面積（平方メートル）
一二〇人以下	1 2 0 0
一二一人以上四八〇人以下	1 2 0 0 + 6 × (収容定員 - 1 2 0)
四八一人以上	3 3 6 0 + 4 × (収容定員 - 4 8 0)

学術雑誌一覧

NO.	タイトル
1	ラジオ技術
2	電子情報通信学会論文誌. D-II, 情報・システム, II-パターン処理
3	電子情報通信学会技術研究報告. SE, 交換
4	電子情報通信学会技術研究報告. OS, オフィスシステム
5	数セミ: 数学セミナー
6	電子情報通信学会技術研究報告. RCS, 無線通信システム
7	電子情報通信学会論文誌. B-II, 通信II
8	日本音響学会誌
9	電子技術
10	電子情報通信学会技術研究報告. OFT, 光ファイバ応用技術
11	数学セミナー
12	電気通信研究所研究実用化報告
13	日経エレクトロニクス
14	電子情報通信学会技術研究報告. SST, スペクトル拡散
15	電子情報通信学会技術研究報告. R, 信頼性
16	電子情報通信学会技術研究報告. LQE, レーザ・量子エレクトロニクス
17	電子情報通信学会技術研究報告. WIT, 福祉情報工学
18	Cmagazine = Cマガジン
19	電気学会論文誌. C = The transactions of the Institute of Electrical Engineers of Japan
20	電子通信学会技術研究報告. SP, 音声
21	Try!PC = トライピーシー
22	電子情報通信学会論文誌. B-I, 通信I
23	電子情報通信学会技術研究報告. WBS, ワイドバンドシステム
24	電子情報通信学会技術研究報告. ISEC, 情報セキュリティ
25	ASCII
26	Oh! PC
27	Super ASCII = 月刊スーパーアスキー
28	Software design = ソフトウェアデザイン
29	電子情報通信学会技術研究報告. A・P, アンテナ・伝播
30	電子通信学会誌 = The journal of the Institute of Electronics and Communication Engineers of Japan
31	電子通信学会論文誌. A
32	電子情報通信学会技術研究報告. NLC, 言語理解とコミュニケーション
33	日経コンピュータ = Nikkei computer
34	電子情報通信学会技術研究報告. CS, 通信方式
35	電子情報通信学会技術研究報告. MW, マイクロ波
36	電子情報通信学会技術研究報告. IN, 情報ネットワーク
37	電子情報通信学会技術研究報告. COMP, コンピューターション

NO.	タイトル
38	学習コンピュータ
39	電子情報通信学会技術研究報告. PRMU, パターン認識・メディア理解
40	エレクトロニクス：電子雑誌
41	電子情報通信学会技術研究報告. AI, 人工知能と知識処理
42	インターフェース
43	電子情報通信学会論文誌. B-I, 通信I-情報通信システム・理論 = The transactions of the Institute of Electronics, Information and Communication Engineers
44	Computer today
45	電子情報通信学会論文誌. B-II, 通信II-無線通信・無線応用 = The transactions of the Institute of Electronics, Information and Communication Engineers
46	電子通信学会技術研究報告. CS, 通信方式
47	教育と情報
48	数学セミナー = Sugaku semina
49	電子通信学会技術研究報告. A・P, アンテナ・伝播
50	電子通信学会技術研究報告. MW, マイクロ波
51	電子情報通信学会論文誌. D-I, 情報・システム, I-コンピュータ = The transactions of the Institute of Electronics, Information and Communication Engineers
52	電子通信学会技術研究報告. EA, 電気音響
53	電子通信学会技術研究報告. SSD, 半導体・トランジスタ
54	電子通信学会技術研究報告. SE, 交換
55	電子情報通信学会技術研究報告. PE, 電子通信用電源技術
56	電子情報通信学会論文誌. D-II, 情報・システム, II-情報処理 = The transactions of the Institute of Electronics, Information and Communication Engineers
57	電子情報通信学会技術研究報告. MR, 磁気記録
58	NTT技術ジャーナル：NTTテレコミュニケーション情報誌
59	電子情報通信学会技術研究報告. IT, 情報理論
60	電子情報通信学会技術研究報告. TL, 思考と言語
61	電子情報通信学会論文誌. B, 通信 = The transactions of the Institute of Electronics, Information and Communication Engineers. B
62	テレビジョン
63	テレビジョン学会誌
64	電子通信学会論文誌. C
65	数理科学 = Mathematical sciences
66	電子情報通信学会技術研究報告. US, 超音波
67	電子情報通信学会技術研究報告. SS, ソフトウェアサイエンス
68	電子情報通信学会技術研究報告. OFS, オフィスシステム
69	電子情報通信学会技術研究報告. IE, 画像工学
70	Bit：コンピュータ・サイエンス誌
71	情報科学
72	電子情報通信学会技術研究報告. SSE, 交換システム
73	電子通信学会技術研究報告. US, 超音波

NO.	タイトル
74	電子情報通信学会技術研究報告. SP, 音声
75	電子情報通信学会技術研究報告. OPE, 光エレクトロニクス
76	レーザー研究
77	電子情報通信学会技術研究報告. HIP, ヒューマン情報処理
78	Interface = インターフェース
79	電子情報通信学会技術研究報告. DE, データ工学
80	電子情報通信学会技術研究報告. MVE, マルチメディア・仮想環境基礎
81	電子情報通信学会技術研究報告. EA, 電気音響
82	電子情報通信学会技術研究報告. OCS, 光通信システム
83	電子情報通信学会技術研究報告. EA, 応用音響
84	電子通信学会論文誌. D
85	電子情報通信学会技術研究報告. FTS, フォールトトレラントシステム
86	電子情報通信学会論文誌. C-I, エレクトロニクス, I-光・波動 = The transactions of the Institute of Electronics, Information and Communication Engineers
87	電子情報通信学会技術研究報告. EMD, 機構デバイス
88	電子情報通信学会技術研究報告. NLC, 言語処理とコミュニケーション
89	電子情報通信学会技術研究報告. EID, 電子ディスプレイ
90	電子情報通信学会技術研究報告. CPSY, コンピュータシステム
91	電子情報通信学会論文誌. B, 通信
92	電子通信学会技術研究報告. R, [信頼性]
93	電子情報通信学会論文誌. D, 情報・システム
94	電子通信学会技術研究報告. IE, 画像工学
95	トランジスタ技術. 増刊, ハードウェアデザインシリーズ
96	電子情報通信学会技術研究報告. DSP, デジタル信号処理
97	電子情報通信学会技術研究報告. ITS
98	電子情報通信学会技術研究報告. NS, ネットワークシステム
99	数学セミナー. 増刊
100	電子情報通信学会技術研究報告. NC, ニューロコンピューティング
101	システム/制御/情報: システム制御情報学会誌 = Systems, control and information
102	電気学会論文誌. E, センサ・マイクロマシン部門誌 = The transactions of the Institute of Electrical Engineers of Japan. A publication of Sensors and Micromachines Society
103	電子情報通信学会論文誌. D-I, 情報・システム, I-情報処理 = The transactions of the Institute of Electronics, Information and Communication Engineers. D-I
104	情報処理
105	情報処理学会論文誌
106	電子情報通信学会技術研究報告. SAT, 衛星通信
107	トランジスタ技術. 増刊, RFワールド: 無線と高周波の技術解説マガジン: radio frequency ワールド
108	電子情報通信学会技術研究報告. SIP, 信号処理: IEICE technical report
109	電子情報通信学会技術研究報告. KBSE, 知能ソフトウェア工学
110	電子情報通信学会技術研究報告. MoMuC, モバイルマルチメディア通信

NO.	タイトル
111	トランジスタ技術
112	電子情報通信学会技術研究報告. ICSS, 情報通信システムセキュリティ : IEICE technical report
113	電子情報通信学会技術研究報告. USN, ユビキタス・センサネットワーク : IEICE technical report
114	電子情報通信学会技術研究報告. MoNA, モバイルネットワークとアプリケーション
115	電子情報通信学会技術研究報告. ASN, 知的環境とセンサネットワーク
116	日経パソコン = Nikkei personal computing
117	エレクトロニクス実装技術
118	情報処理学会論文誌 : 論文誌ジャーナル
119	電子通信学会技術研究報告. CPSY, コンピュータシステム
120	電子通信学会技術研究報告. DE, データ工学
121	電子通信学会技術研究報告. COMP, コンピューテーション
122	電子通信学会技術研究報告. PRU, パターン認識・理解
123	電子通信学会技術研究報告. SS, ソフトウェアサイエンス
124	電子通信学会技術研究報告. IT, 情報理論
125	電子通信学会技術研究報告. SAT, 衛星通信
126	電気学会論文誌.C, 電子・情報・システム部門誌
127	Information and control
128	Networks : an international journal
129	Mathematics of computation
130	Electro optics
131	Archives of acoustics
132	Fiber and integrated optics
133	Electronic imaging
134	SIAM journal on computing
135	IEE proceedings. Part E, Computers and digital techniques
136	Satellite communications
137	Computer graphics forum
138	Communications of the Association for Computing Machinery
139	IEICE transactions on communications
140	IEEE transactions on microwave theory and techniques
141	IEEE computer graphics and applications
142	Information storage and retrieval : including mechanical translation. an international journal
143	Software : practice and experience
144	Neural networks : the official journal of the International Neural Network Society
145	Journal of algebra
146	IEEE transactions on communication technology
147	Computing reviews / the Association for Computing Machinery
148	International journal for numerical methods in engineering
149	Applied optics

NO.	タイトル
150	Information processing letters
151	CVGIP. Image understanding
152	Computer vision and image understanding
153	Network : computation in neural systems
154	Ultrasonic imaging
155	Information and computation
156	Solid state communications
157	IEEE microwave and guided wave letters
158	Computer aided geometric design
159	Journal of computer and system sciences
160	Journal of optical communications
161	Electrical communication
162	Current contents. Engineering, technology & applied sciences
163	Journal of the Mathematical Society of Japan
164	ACM transactions on database systems
165	Journal of the Optical Society of America
166	IEE proceedings. Part F, Radar and signal processing
167	Computer- aided engineering journal
168	The Computer journal
169	IEEE transactions on ultrasonics, ferroelectrics, and frequency control
170	CVGIP. Graphical models and image processing
171	The Transactions of the Institute of Electronics, Information and Communication Engineers
172	ACM transactions on graphics
173	Computer graphics world
174	Computer- aided engineering : CAE
175	Computer vision, graphics, and image processing
176	Telcom report (ドイツ語版)
177	IEICE transactions on information and systems
178	AT & T Bell Laboratories technical journal : a journal of the AT&T Companies
179	International journal of computer vision
180	The Journal of the Acoustical Society of America
181	IEE proceedings. Part H, Microwaves, antennas and propagation
182	AT&T technology : products, systems and services
183	Journal of mathematics and mechanics
184	AT & T technical journal : a journal of the AT & T Companies
185	Computer pictures
186	Computer aided design : CAD
187	Computer
188	IEEE transactions on circuits and systems. II, Analog and digital signal processing

NO.	タイトル
189	IEE proceedings. Pt. F, Communications, radar and signal processing
190	Telcom Report (英語版)
191	ACM transactions on programming languages and systems
192	ACM transactions on mathematical software
193	Journal of the Optical Society of America. A, Optics, image science, and vision
194	Journal of the Association for Computing Machinery
195	IEEE transactions on computers
196	Mathematical programming / the Mathematical Programming Society
197	IEE proceedings. Part H, Microwaves, optics and antennas
198	Journal of information processing Information Processing Society of Japan
199	Graphical models and image processing : GMIP
200	IEEE transactions on communications Institute of Electrical and Electronics Engineers
201	Computer physics communications
202	IEEE transactions on information theory : a journal devoted to the theoretical and experimental aspects of information transmission, processing, and utilization / Institute of Electrical and Electronics Engineers
203	Journal of the Optical Society of America. B, Optical physics
204	Data processing magazine
205	Acoustical science and technology edited by the Acoustical Society of Japan
206	IEEE transactions on software engineering / Institute of Electrical and Electronics Engineers
207	IEEE microwave & wireless components letters
208	Information processing & management : libraries and information retrieval-systems and communication networks
209	Optics communications
210	E-Contecture : ecology construction architecture = イー・コンテクチャー : 建廃・解体・エコ施工の専門誌
211	Harvard business review : Diamondハーバード・ビジネス・レビュー
212	Journal of accountancy
213	Journal of economic abstracts / American Economic Association
214	Journal of economic literature / American Economic Association
215	Management accounting
216	The accounting review / American Association of University Instructors in Accounting
217	The American economic review / American Economic Association
218	The economic journal : the quarterly journal of the British Economic Association
219	Think! = シンク! : 実践的ビジネストレーニング誌
220	エレクトロニクス実装技術 / Gichoビジネスコミュニケーションズ株式会社 . - 東京
221	サイエンス : scientific American 日本版
222	ブレーン : 広告とマーケティング = Brain
223	一橋ビジネスレビュー = Hitotsubashi business review
224	運輸と経済 = Transportation & economics
225	化学経済

NO.	タイトル
226	環境ビジネス：marketing
227	企業会計
228	機械エンジニア
229	金融経済
230	経済セミナー
231	経済セミナー：the keizai seminar
232	経済評論
233	経済分析
234	経済変動観測月報
235	月刊廃棄物
236	札幌市民経済計算年報
237	三田學會雑誌
238	週刊東洋経済
239	日経キャリアマガジン：career magazine
240	日経グローバル：地域創造のための専門情報誌 = Nikkei global
241	日経デジタルマーケティング：注目の戦略と先端事例を追う = Nikkei digital marketing
242	日経ネットマーケティング：ネットとケータイで“売れる”仕組みを作る = Nikkei net marketing
243	日経ビジネス
244	日経ビジネスassocié：アソシエ
245	木材工業 = Wood industry
246	會計
247	經濟研究 = Economic review
248	經濟論叢
249	日経コンピュータ
250	日経ソフトウェア
251	日経パソコン
252	日経PC21
253	日経NETWORK
254	日経クロステック
255	電子情報通信学会 基礎・境界ソサイエティ回路とシステム(CAS)
256	電子情報通信学会 基礎・境界ソサイエティ情報理論(IT)
257	電子情報通信学会 基礎・境界ソサイエティ信頼性(R)
258	電子情報通信学会 基礎・境界ソサイエティ超音波(US)※日本音響学会と共催
259	電子情報通信学会 基礎・境界ソサイエティ応用音響(EA)※日本音響学会と共催
260	電子情報通信学会 基礎・境界ソサイエティ非線形問題(NLP)
261	電子情報通信学会 基礎・境界ソサイエティVLSI設計技術(VLD)
262	電子情報通信学会 基礎・境界ソサイエティ情報セキュリティ(ISEC)
263	電子情報通信学会 基礎・境界ソサイエティ信号処理(SIP)
264	電子情報通信学会 基礎・境界ソサイエティワイドバンドシステム(WBS)

NO.	タイトル
265	電子情報通信学会 基礎・境界ソサイエティシステム数理と応用(MSS)
266	電子情報通信学会 基礎・境界ソサイエティ思考と言語(TL)
267	電子情報通信学会 基礎・境界ソサイエティ技術と社会・倫理(SITE)
268	電子情報通信学会 基礎・境界ソサイエティITS(ITS)
269	電子情報通信学会 基礎・境界ソサイエティスマートインフォメディアシステム(SIS)
270	電子情報通信学会 基礎・境界ソサイエティイメージ・メディア・クオリティ(IMQ)
271	電子情報通信学会 基礎・境界ソサイエティ高信頼制御通信(RCC)
272	電子情報通信学会 基礎・境界ソサイエティバイオメトリクス(BioX)
273	電子情報通信学会 基礎・境界ソサイエティ複雑コミュニケーションサイエンス(CCS)
274	電子情報通信学会 基礎・境界ソサイエティ安全・安心な生活とICT(ICTSSL)
275	電子情報通信学会 基礎・境界ソサイエティハードウェアセキュリティ(HWS)
276	電子情報通信学会 情報・システムソサイエティMEとバイオサイバネティックス
277	電子情報通信学会 情報・システムソサイエティライフインテリジェンスとオフィス情報システム(LOIS)
278	電子情報通信学会 情報・システムソサイエティ画像工学(IE)
279	電子情報通信学会 情報・システムソサイエティ言語理解とコミュニケーション(NLC)
280	電子情報通信学会 情報・システムソサイエティコンピュータシステム(CPSY)
281	電子情報通信学会 情報・システムソサイエティコンピューテーション(COMP)
282	電子情報通信学会 情報・システムソサイエティ人工知能と知識処理(AI)
283	電子情報通信学会 情報・システムソサイエティソフトウェアサイエンス(SS)
284	電子情報通信学会 情報・システムソサイエティデータ工学(DE)
285	電子情報通信学会 情報・システムソサイエティパターン認識・メディア理解(PRMU)
286	電子情報通信学会 情報・システムソサイエティディペンダブルコンピューティング(DC)(PRMU)
287	電子情報通信学会 情報・システムソサイエティニューロコンピューティング(NC)
288	電子情報通信学会 情報・システムソサイエティ知能ソフトウェア工学(KBSE)
289	電子情報通信学会 情報・システムソサイエティ音声(SP)
290	電子情報通信学会 情報・システムソサイエティ教育工学(ET)
291	電子情報通信学会 情報・システムソサイエティ医用画像(MI)
292	電子情報通信学会 情報・システムソサイエティソフトウェアインタプライズモデリング(SWIM)
293	電子情報通信学会 情報・システムソサイエティリコンフィギャラブルシステム(RECONF)
294	電子情報通信学会 情報・システムソサイエティ情報通信システムセキュリティ(ICSS)
295	電子情報通信学会 情報・システムソサイエティ情報論的学習理論と機械学習(IBISML)
296	電子情報通信学会 情報・システムソサイエティマルチメディア情報ハイディング・エンリッチメント(EMM)
297	電子情報通信学会 情報・システムソサイエティクラウドネットワークロボット(CNR)

NO.	タイトル
298	電子情報通信学会 情報・システムサイエティサービスコンピューティング(SC)
299	電子情報通信学会 情報・システムサイエティ合憲と共創(Consen)
300	4OR
301	Abhandlungen aus dem Mathematischen Seminar der Universität Hamburg
302	Acta Applicandae Mathematicae
303	Acta Informatica
304	Acta Mathematica Hungarica
305	Acta Mathematica Scientia
306	Acta Mathematica Sinica, English Series
307	Acta Mathematica Vietnamica
308	Acta Mathematicae Applicatae Sinica, English Series
309	Acta Scientiarum Mathematicarum
310	Acta Universitatis Sapientiae, Informatica
311	Acta Universitatis Sapientiae, Mathematica
312	Advances in Computational Mathematics
313	Advances in Continuous and Discrete Models
314	Advances in Operator Theory
315	Aequationes mathematicae
316	Afrika Matematika
317	AI & SOCIETY
318	AI and Ethics
319	Algebra and Logic
320	Algebra universalis
321	Algebras and Representation Theory
322	Algorithmica
323	AMS Review
324	Analysis and Mathematical Physics
325	Analysis Mathematica
326	Annales mathématiques du Québec
327	ANNALI DELL'UNIVERSITA' DI FERRARA
328	Annali di Matematica Pura ed Applicata (1923 -)
329	Annals of Combinatorics
330	Annals of Data Science
331	Annals of Functional Analysis
332	Annals of Global Analysis and Geometry
333	Annals of Mathematics and Artificial Intelligence
334	Annals of Operations Research
335	Applicable Algebra in Engineering, Communication and Computing
336	Applications of Mathematics

NO.	タイトル
337	Applied Categorical Structures
338	Applied Intelligence
339	Applied Mathematics & Optimization
340	Applied Mathematics and Mechanics
341	Applied Mathematics—A Journal of Chinese Universities
342	Applied Network Science
343	Arabian Journal of Mathematics
344	Archiv der Mathematik
345	Archive for History of Exact Sciences
346	Archive for Mathematical Logic
347	Artificial Intelligence and Law
348	Artificial Intelligence Review
349	Artificial Life and Robotics
350	Asia Pacific Journal of Management
351	Asian Business & Management
352	Automated Software Engineering
353	Automatic Control and Computer Sciences
354	Automatic Documentation and Mathematical Linguistics
355	Automation and Remote Control
356	Autonomous Agents and Multi-Agent Systems
357	Banach Journal of Mathematical Analysis
358	Beiträge zur Algebra und Geometrie / Contributions to Algebra and Geometry
359	BIT Numerical Mathematics
360	BMC Artificial Intelligence
361	Boletín de la Sociedad Matemática Mexicana
362	Bollettino dell'Unione Matematica Italiana
363	Boundary Value Problems
364	Brain Informatics
365	Bulletin of Mathematical Biology
366	Bulletin of the Brazilian Mathematical Society, New Series
367	Bulletin of the Iranian Mathematical Society
368	Bulletin of the Malaysian Mathematical Sciences Society
369	Business & Information Systems Engineering
370	Calcolo
371	Calculus of Variations and Partial Differential Equations
372	CCF Transactions on High Performance Computing
373	CCF Transactions on Pervasive Computing and Interaction
374	Central European Journal of Operations Research
375	Chinese Annals of Mathematics, Series B

NO.	タイトル
376	Cluster Computing
377	Cognition, Technology & Work
378	Cognitive Computation
379	Collectanea Mathematica
380	Combinatorica
381	Communications in Mathematics and Statistics
382	Communications on Applied Mathematics and Computation
383	Complex Analysis and its Synergies
384	Complex Analysis and Operator Theory
385	Computational and Applied Mathematics
386	Computational and Mathematical Organization Theory
387	computational complexity
388	Computational Management Science
389	Computational Mathematics and Mathematical Physics
390	Computational Mathematics and Modeling
391	Computational Methods and Function Theory
392	Computational Optimization and Applications
393	Computational Science and Engineering
394	Computer Supported Cooperative Work (CSCW)
395	Computing
396	Constraints
397	Constructive Approximation
398	Controlling & Management Review
399	Corporate Reputation Review
400	Cryptography and Communications
401	CSI Transactions on ICT
402	Customer Needs and Solutions
403	Cybernetics and Systems Analysis
404	Cybersecurity
405	Czechoslovak Mathematical Journal
406	Data Mining and Knowledge Discovery
407	Data Science and Engineering
408	Datenbank-Spektrum
409	Datenschutz und Datensicherheit – DuD
410	DECISION
411	Designs, Codes and Cryptography
412	Differential Equations
413	Differential Equations and Dynamical Systems
414	Digital Society

NO.	タイトル
415	Discover Analytics
416	Discover Computing
417	Discover Data
418	Discover Internet of Things
419	Discover Networks
420	Discrete & Computational Geometry
421	Discrete Event Dynamic Systems
422	Distributed and Parallel Databases
423	Distributed Computing
424	Doklady Mathematics
425	Dynamic Games and Applications
426	Education and Information Technologies
427	Electronic Commerce Research
428	Electronic Markets
429	Empirical Software Engineering
430	Energy Informatics
431	Engineering with Computers
432	EPJ Data Science
433	Ethics and Information Technology
434	Eurasian Business Review
435	European Actuarial Journal
436	European Journal of Mathematics
437	Finance and Stochastics
438	Financial Markets and Portfolio Management
439	Fixed Point Theory and Algorithms for Sciences and Engineering
440	Foundations of Computational Mathematics
441	Fractional Calculus and Applied Analysis
442	Frontiers of Computer Science
443	Frontiers of Information Technology & Electronic Engineering
444	Frontiers of Mathematics
445	Functional Analysis and Its Applications
446	Future Business Journal
447	Fuzzy Optimization and Decision Making
448	GEM – International Journal on Geomathematics
449	Genetic Programming and Evolvable Machines
450	GeoInformatica
451	Geometriae Dedicata
452	Geometric and Functional Analysis
453	Global Journal of Flexible Systems Management

NO.	タイトル
454	Graphs and Combinatorics
455	Group Decision and Negotiation
456	Health Care Management Science
457	Health Information Science and Systems
458	HMD Praxis der Wirtschaftsinformatik
459	Human-Centric Intelligent Systems
460	Indian Journal of Pure and Applied Mathematics
461	Industrial Artificial Intelligence
462	Informatik Spektrum
463	Information Geometry
464	Information Systems and e-Business Management
465	Information Systems Frontiers
466	Information Technology & Tourism
467	Information Technology and Management
468	Innovations in Systems and Software Engineering
469	Integral Equations and Operator Theory
470	International Cybersecurity Law Review
471	International Entrepreneurship and Management Journal
472	International Journal of Applied and Computational Mathematics
473	International Journal of Artificial Intelligence in Education
474	International Journal of Computer Vision
475	International Journal of Data Science and Analytics
476	International Journal of Disclosure and Governance
477	International Journal of Educational Technology in Higher Education
478	International Journal of Global Business and Competitiveness
479	International Journal of Information Security
480	International Journal of Information Technology
481	International Journal of Intelligent Robotics and Applications
482	International Journal of Multimedia Information Retrieval
483	International Journal of Networked and Distributed Computing
484	International Journal of Parallel Programming
485	International Journal on Digital Libraries
486	International Journal on Document Analysis and Recognition (IJ DAR)
487	International Journal on Software Tools for Technology Transfer
488	International Review on Public and Nonprofit Marketing
489	Inventiones mathematicae
490	Iran Journal of Computer Science
491	Israel Journal of Mathematics
492	Italian Journal of Marketing

NO.	タイトル
493	IT-Director
494	IT-Mittelstand
495	Jahresbericht der Deutschen Mathematiker-Vereinigung
496	Japan Journal of Industrial and Applied Mathematics
497	Japanese Journal of Mathematics
498	Journal d'Analyse Mathématique
499	Journal of Algebraic Combinatorics
500	Journal of Applied and Computational Topology
501	Journal of Applied and Industrial Mathematics
502	Journal of Applied Mathematics and Computing
503	Journal of Automated Reasoning
504	Journal of Banking and Financial Technology
505	Journal of Big Data
506	Journal of Biomedical Semantics
507	Journal of Brand Management
508	Journal of Business Economics
509	Journal of Cloud Computing
510	Journal of Combinatorial Optimization
511	Journal of Computer Science and Technology
512	Journal of Computer Virology and Hacking Techniques
513	Journal of Contemporary Mathematical Analysis (Armenian Academy of Sciences)
514	Journal of Cryptographic Engineering
515	Journal of Cryptology
516	Journal of Digital Management
517	Journal of Dynamical and Control Systems
518	Journal of Dynamics and Differential Equations
519	Journal of Elliptic and Parabolic Equations
520	Journal of Engineering Mathematics
521	Journal of Evolution Equations
522	Journal of Fixed Point Theory and Applications
523	Journal of Fourier Analysis and Applications
524	Journal of Geometry
525	Journal of Global Entrepreneurship Research
526	Journal of Global Optimization
527	Journal of Grid Computing
528	Journal of Healthcare Informatics Research
529	Journal of Heuristics
530	Journal of Homotopy and Related Structures
531	Journal of Inequalities and Applications

NO.	タイトル
532	Journal of Innovation and Entrepreneurship
533	Journal of Intelligent Information Systems
534	Journal of Intelligent Manufacturing
535	Journal of International Business Policy
536	Journal of International Business Studies
537	Journal of International Entrepreneurship
538	Journal of King Saud University Computer and Information Sciences
539	Journal of Management and Governance
540	Journal of Management Control
541	Journal of Marketing Analytics
542	Journal of Mathematical Biology
543	Journal of Mathematical Imaging and Vision
544	Journal of Mathematical Sciences
545	Journal of Mathematics in Industry
546	Journal of Membrane Computing
547	Journal of Network and Systems Management
548	Journal of Nonlinear Mathematical Physics
549	Journal of Nonlinear Science
550	Journal of Optimization Theory and Applications
551	Journal of Organization Design
552	Journal of Pseudo-Differential Operators and Applications
553	Journal of Real-Time Image Processing
554	Journal of Reliable Intelligent Environments
555	Journal of Revenue and Pricing Management
556	Journal of Scheduling
557	Journal of Scientific Computing
558	Journal of Shipping and Trade
559	Journal of Sustainable Business
560	Journal of Systems Science and Complexity
561	Journal of the Academy of Marketing Science
562	Journal of the Operations Research Society of China
563	Journal of Theoretical Probability
564	Journal of Transportation Security
565	Journal on Multimodal User Interfaces
566	KI - Künstliche Intelligenz
567	Knowledge and Information Systems
568	La Matematica
569	Lithuanian Mathematical Journal
570	Lobachevskii Journal of Mathematics

NO.	タイトル
571	Logica Universalis
572	Machine Intelligence Research
573	Machine Learning
574	Machine Vision and Applications
575	Management International Review
576	Management Review Quarterly
577	Management System Engineering
578	manuscripta mathematica
579	Maritime Economics & Logistics
580	Marketing Letters
581	Matemática Contemporânea
582	Mathematical Foundations of Machine Learning
583	Mathematical Methods of Operations Research
584	Mathematical Models and Computer Simulations
585	Mathematical Notes
586	Mathematical Programming
587	Mathematical Programming Computation
588	Mathematics and Financial Economics
589	Mathematics in Computer Science
590	Mathematics of Control, Signals, and Systems
591	Mathematische Annalen
592	Mathematische Semesterberichte
593	Mathematische Zeitschrift
594	Mediterranean Journal of Mathematics
595	Milan Journal of Mathematics
596	Minds and Machines
597	Monatshefte für Mathematik
598	Moscow University Computational Mathematics and Cybernetics
599	Moscow University Mathematics Bulletin
600	Multimedia Systems
601	Multimedia Tools and Applications
602	Natural Computing
603	Nature Computational Science
604	Network Modeling Analysis in Health Informatics and Bioinformatics
605	Neural Computing and Applications
606	Neural Processing Letters
607	New Generation Computing
608	Nexus Network Journal
609	Nonlinear Differential Equations and Applications NoDEA

NO.	タイトル
610	npj Artificial Intelligence
611	npj Complexity
612	Numerical Algorithms
613	Numerical Analysis and Applications
614	Numerische Mathematik
615	Operational Research
616	Operations Management Research
617	Operations Research Forum
618	OPSEARCH
619	Optical Memory and Neural Networks
620	Optimization and Engineering
621	Optimization Letters
622	OR Spectrum
623	Order
624	p-Adic Numbers, Ultrametric Analysis and Applications
625	Partial Differential Equations and Applications
626	Pattern Analysis and Applications
627	Pattern Recognition and Image Analysis
628	Peking Mathematical Journal
629	Periodica Mathematica Hungarica
630	Personal and Ubiquitous Computing
631	Photonic Network Communications
632	Place Branding and Public Diplomacy
633	Positivity
634	Potential Analysis
635	Probability Theory and Related Fields
636	Proceedings - Mathematical Sciences
637	Proceedings of the Steklov Institute of Mathematics
638	Process Science
639	Programming and Computer Software
640	Progress in Artificial Intelligence
641	Public Transport
642	Publications mathématiques de l' IHÉS
643	Qualitative Theory of Dynamical Systems
644	Quantitative Marketing and Economics
645	Quantum Studies: Mathematics and Foundations
646	Queueing Systems
647	Real-Time Systems
648	Regular and Chaotic Dynamics

NO.	タイトル
649	Rendiconti del Circolo Matematico di Palermo Series 2
650	Requirements Engineering
651	Research in Number Theory
652	Research in the Mathematical Sciences
653	Results in Mathematics
654	Review of Accounting Studies
655	Review of Managerial Science
656	Revista de la Real Academia de Ciencias Exactas, Físicas y Naturales. Serie A. Matemáticas
657	Revista Matemática Complutense
658	Ricerche di Matematica
659	Russian Mathematics
660	Sales Excellence
661	Sampling Theory, Signal Processing, and Data Analysis
662	São Paulo Journal of Mathematical Sciences
663	Schmalenbach Journal of Business Research
664	Science China Information Sciences
665	Science China Mathematics
666	Scientific and Technical Information Processing
667	Scientometrics
668	Selecta Mathematica
669	SeMA Journal
670	Semigroup Forum
671	Service Business
672	Service Oriented Computing and Applications
673	Set-Valued and Variational Analysis
674	Siberian Advances in Mathematics
675	Siberian Mathematical Journal
676	Signal, Image and Video Processing
677	Small Business Economics
678	SN Business & Economics
679	SN Computer Science
680	Social Network Analysis and Mining
681	Software and Systems Modeling
682	Software Quality Journal
683	Springer Book Archive – Mathematics and Statistics
684	Springer Book Archive – Professional Computing and Web Design
685	Statistical Inference for Stochastic Processes
686	Statistics and Computing

NO.	タイトル
687	Stochastics and Partial Differential Equations: Analysis and Computations
688	Swarm Intelligence
689	Systemic Practice and Action Research
690	Telecommunication Systems
691	The Journal of Analysis
692	The Journal of Geometric Analysis
693	The Journal of Supercomputing
694	The Journal of Technology Transfer
695	The Mathematical Intelligencer
696	The Ramanujan Journal
697	The Review of Socionetwork Strategies
698	The Visual Computer
699	The VLDB Journal
700	Theory of Computing Systems
701	TOP
702	Transformation Groups
703	Ukrainian Mathematical Journal
704	Universal Access in the Information Society
705	User Modeling and User-Adapted Interaction
706	Vestnik St. Petersburg University, Mathematics
707	Vietnam Journal of Mathematics
708	Virtual Reality
709	Visual Computing for Industry, Biomedicine, and Art
710	Visual Intelligence
711	Water Waves
712	Wirtschaftsinformatik & Management
713	World Wide Web
714	Zorgvisie

情報科学部 経営情報学科 授業時間割

曜日	講時	前期								後期								
		1年		2年		3年		4年		1年		2年		3年		4年		
		1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	
月	1																	
	2					ビジネススキル I 中講義室(1) 鈴木					情報理論 II 大講義室 長坂							
		日本語表現法 (作文、論文) E404 塚崎									日本語表現法 (読解、分析) E404 笠井							
	3	SDGs (全学部合同) ※下欄参照						経営情報分析 中講義室(3) 川上		SDGs (全学部合同) ※下欄参照	データベース 中講義室(3) 丹羽	ビジネススキル II 大講義室 鈴木						
	4		情報倫理 大講義室 瀬之口															
5																		
火	1	情報処理法 E404 深井																
	2	英語(環境) A202 坂部 A203 小野 A204 オルソン A205 ウォールボール A206 ジョージ	情報理論 I 大講義室 長坂	マルチメディア 中講義室(3) 金沢					英語(時事) A202 坂部 A203 小野 A204 オルソン A205 ウォールボール A206 ジョージ	キャリア形成 I E404 春名	プログラミング II 中講義室(1) 丹羽							
		英語(科学) A202 坂部 A203 小野 A204 オルソン A205 ウォールボール A206 ジョージ																
	3		プログラミング I 大講義室 丹羽	経営情報演習 I 中講義室(3) 瀬之口	ロジカルシンキ ング 中講義室(4) 金沢					情報ネットワーク とセキュリティ 中講義室(1) 杉尾	ビジネスデータ サイエンス 中講義室(3) 加地							
	4					ソフトウェア開発 演習 中講義室(4) 瀬之口 加地					データサイエンス 演習 I 中講義室(1) 加地							
5									技術者のための英語 A202 坂部 A203 小野 A204 オルソン A205 ウォールボール A206 ジョージ									
水	1	フレッシュマン セミナー 中講義室(3) 鈴木 加地 谷川 瀬之口 長坂 檜山 丹羽	課題発見解決法 II (地域課題) E305 E306 郡谷 本宮 本多															
	2	情報科学概論 中講義室(3) 鈴木	キャリア形成 II E404 春名	Webプログラミング 中講義室(1) 丹羽	機械学習演習 中講義室(2) 長坂	ハードウェアと ソフトウェア 中講義室(3) 瀬之口												
	3	経営情報概論 中講義室(3) 鈴木 谷川		経営情報実践 I 中講義室(1) 大滝	イノベーション・ デザイン 中講義室(2) 工藤	プログラミング言 語と言語処理系 中講義室(3) 鈴木	オペレーショ ンズ・リサーチ 中講義室(1) 加地	経営管理システム 中講義室(4) 谷川 真田										
	4															人工知能と機械 学習 中講義室(4) 長坂		
	5																	

曜日	学期	講時	前期								後期							
			1年		2年		3年		4年		1年		2年		3年		4年	
			1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2
木	1			AI入門 中講義室(3) 丹羽				デジタル技術活用 中講義室(2) 金沢			日本国憲法 E404 坪田							
	2	ICTリテラシー 中講義室(2) 瀬之口		コンピュータ システム 中講義室(3) 長坂					経営科学 中講義室(2) 谷川 真田		現代倫理学 E404 奥山	ソフトウェア開発 基礎 中講義室(1) 瀬之口 加地						
	3	情報数理 I 中講義室(2) 鈴木			データサイエンス 演習 II 中講義室(3) 加地				情報数理 II 中講義室(2) 鈴木		+Professionalセミナー E404 福原	会計情報システム 中講義室(1) 檜山 松崎						
	4				経営情報研究法 中講義室(3) 鈴木							経営情報演習 II 中講義室(1) 川上						
	5																	
金	1																	
	2	健康科学 E404 苦米地		アルゴリズムと データ構造 中講義室(3) 瀬之口		システム開発 技術演習 中講義室(4) 丹羽			体育実技 II 体育館 黒田		システム開発 技術基礎 中講義室(3) 丹羽	経営情報実践 II 中講義室(4) 大滝						
	3	体育実技 I 体育館 苦米地		経営情報 システム 中講義室(3) 谷川 真田			シミュレーション 中講義室(4) 金沢		課題発見解決法 I (課題発見解決 スキル) E305 E306 郡谷			原価管理システム 中講義室(4) 檜山 松崎						
	4	統計分析法 E404 寺西					卒業研究 演習室/実習室 鈴木 加地 谷川 瀬之口 長坂 檜山 丹羽		データサイエンス E404 松川			生産管理システム 中講義室(4) 工藤				卒業研究 演習室/実習室 鈴木 加地 谷川 瀬之口 長坂 檜山 丹羽		
	5																	

SDGs科目の開講



前田キャンパス



手稲駅前キャンパス

学年	科目名	教室	担当者
1	SDGs (環境と自然)	E401	福原
	SDGs (環境と人権)	遠隔	青山 金澤
	SDGs (国際平和と民族)	G304	小川
	SDGs (多文化共生)	遠隔	荏原

北海道科学大学自己点検・評価規程

(趣旨)

第1条 この規程は、北海道科学大学（以下「本学」という。）学則第2条に基づき、本学の教育、研究、社会貢献等の質的向上を図り、大学運営全般の改善・改革に資するため、教育研究、組織運営、施設設備等の総合的な状況に対する自己点検・評価並びにその結果に対する認証評価機関による評価の受審に関し、必要な事項を定める。

(自己点検・評価委員会)

第2条 本学に、自己点検・評価及び認証評価機関による評価のための統括的組織として、北海道科学大学自己点検・評価委員会（以下「委員会」という。）を置く。

(自己点検 I R 委員会)

第3条 委員会に、委員会の求めに応じ自己点検・評価のための情報収集、整理を支援するとともに、教学 I R 活動を行う自己点検 I R 委員会を置く。

2 自己点検 I R 委員会の運営に関し必要な事項は、別に定める。

(組織)

第4条 委員会は、次の各号に掲げる者をもって構成する。

- (1) 学長
- (2) 副学長
- (3) 自己点検 I R 委員会委員長、同副委員長
- (4) 学部長、大学経営企画室長、全学共通教育部長、センター長
- (5) 事務局長、総務部長、財務部長、学務部長、入試・地域連携部長

(委員長)

第5条 委員会に委員長をおき、学長をもってあてる。

2 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。

3 委員長は、必要とみとめた場合は第4条に掲げた者以外の者の出席を求めることができる。

(会議の成立要件)

第6条 委員会は、委員の3分の2以上の出席がなければ、議事を開くことができない。

(自己点検・評価事項等)

第7条 自己点検・評価は次の各号に掲げる事項について行う。

- (1) 使命・目的及び教育目的に関すること
- (2) 学生の受入れに関すること
- (3) 学生の支援に関すること

- (4) 学修環境及び教育研究等の環境に関すること
- (5) 教育課程の編成及び学修成果に関する全学的な方針の策定・検証・評価に関すること
- (6) 教育研究組織及び研究支援に関すること
- (7) 教員・教員組織及び職員に関すること
- (8) 大学運営及び財務に関すること
- (9) 内部質保証に関すること
- (10) 社会連携・社会貢献に関すること
- (11) その他、委員会が必要と認める事項に関すること

(自己点検・評価の実施)

第8条 3年ごとに前条の各号に定める全ての事項に関し自己点検・評価を行う。

2 6年ごとに自己点検・評価結果について認証評価機関による評価を受ける。

(結果の公表)

第9条 自己点検・評価結果を報告書にまとめ公表するとともに、自己点検・評価結果に対する認証評価機関による評価の受審結果についてもホームページ等により公表する。

(結果の活用)

第10条 学長は、前条の自己点検・評価結果に基づき、全学的に改善が必要と認められるものについては、その改善策の検討を大学経営企画室に指示し、改善策の遂行を監視するものとする。

2 学長は、専攻、学科、全学共通教育部、大学経営企画室、センター及び委員会の各組織において改善が必要と認められるものについては、当該組織に改善策の検討と実行を指示し、その経過及び結果の監督・検証に努めるものとする。

3 学長は、前2項の監視・検証結果を、大学経営企画室、専攻、学科、全学共通教育部及びセンターが立案する諸計画の策定に反映させるものとする。

(委員等の職責)

第11条 委員会委員及び自己点検・評価に関係するすべての者は、本委員会の活動の対象となる職員及び学生の基本的な人権を損なうことのないように努めるとともに、職員の人事に関する記録及び学生の学業成績その他職務上知り得た秘密を漏らしてはならない。

(庶務)

第12条 委員会の庶務は、総務課がこれにあたる。

(規程の改廃)

第13条 この規程の改廃は、教授会の議を経て学長が決定する。

附 則

1 この規程は、平成5年10月29日から施行する。

- 1 この規程の改正は、平成10年4月1日から施行する。
- 1 この規程の改正は、平成19年4月1日から施行する。
- 1 この規程の改正は、平成21年4月1日から施行する。
- 1 この規程の改正は、平成22年4月1日から施行する。
- 1 この規程の改正は、平成24年4月1日から施行する。
- 1 この規程の改正は、平成26年4月1日から施行する。
- 1 この規程の改正は、平成27年4月1日から施行する。
- 1 この規程の改正は、平成28年4月1日から施行する。
- 1 この規程の改正は、平成29年4月1日から施行する。
- 1 この規程の改正は、平成30年4月1日から施行する。
- 1 この規程の改正は、2019年4月1日から施行する。
- 1 この規程の改正は、2020年4月1日から施行する。
- 1 この規程の改正は、2022年4月1日から施行する。

北海道科学大学ファカルティ・ディベロップメント規程

(趣 旨)

第1条 この規程は、北海道科学大学学則第13条及び北海道科学大学大学院学則第24条に基づき、ファカルティ・ディベロップメント（以下「FD」という。）を推進するために必要な事項を定める。

(教育履行上求められる資質・能力)

第2条 本学の基本理念に定められた、時代の要請に即したプロフェッショナル教育を推進し、組織的に編成された体系的なカリキュラムに基づいて、学修者本位の教育を適切に実施するために教員に求められる資質・能力を以下のように定める。

- (1) 授業の設計・運営・評価・改善の能力
- (2) 動機付け、学修意欲向上等に繋がる学生主体授業の取り組み能力
- (3) 社会生活に必要な基盤能力と総合的な人間力を養成する指導能力
- (4) 学生の理解度に応じた授業外・教室外での学修指導能力
- (5) 授業内容・水準及び多元的成績評価の実施等の授業の質保証取り組み能力
- (6) 教授態度、職業倫理、人材育成に携わる者としての使命感
- (7) 教育改善に向けた教育改革への提案・積極関与の姿勢

(FD活動)

第3条 前条に掲げる教員に求められる「教育履行上求められる資質・能力」の醸成に資する活動を通じて、授業の内容及び方法の改善を図るための組織的な研修及び研究の取り組みと定める。

(FD委員会)

第4条 本学に、FDのための総括的組織として、北海道科学大学FD委員会（以下「委員会」という。）を置く。

(組 織)

第5条 委員会は、次に掲げる者をもって構成する。

- (1) 委員長 副学長
- (2) 副委員長 学生支援センター副センター長（教務担当）
- (3) 委員
 - ア 各学科及び全学共通教育部から学長が指名する者 各1名
 - イ 自己点検IR委員会委員長
 - ウ 教務企画課長

(任 期)

第6条 前条において役職によって指名される者の任期は、その職の在任期間とする。

- 2 前条において学長の指名する者の任期は2年とする。ただし、再任は妨げない。
- 3 欠員により補充された場合の任期は、前任者の残任期間とする。

(臨時委員)

第7条 委員長は、必要と認めた場合は、本学学生や学外の者に対して臨時委員を委嘱することができる。

- 2 臨時委員の任期は1年以内とし、再任は妨げない。
- 3 臨時委員の任務はその都度定め、委嘱時に伝達するものとする。

(任 務)

第8条 委員会は、次の事項について組織的教育力の向上、教育の質保証に資する諸活動を行う。

- (1) 第2条に掲げる「教育履行上求められる資質・能力」の向上を図るための研修に関すること
- (2) 全学的FDの計画立案と実施に関すること
- (3) 教育組織ごとに実施されたFD活動の結果集約とその発表に関すること
- (4) 授業改善のためのアンケートに関すること
- (5) FDのための組織体制に関すること
- (6) その他組織的教育活動に必要と認められる事項

(会 議)

第9条 委員長は、必要に応じ委員会を招集し、その議長となる。

- 2 委員長事故あるときは、あらかじめ指名された委員が議長の職務を代行する。
- 3 委員長は、必要と認めた場合は、第5条に掲げた者以外の者の出席を求めることができる。

(報 告)

第10条 委員長は、委員会で審議された事項を学長に報告するものとする。

(庶 務)

第11条 委員会の庶務は、教務企画課がこれにあたる。

- 2 会議の議事録は、委員長の指名する者が作成し、議長が確認後、教務企画課長が保管する。

(規程の改廃)

第12条 この規程の改廃は、教授会の議を経て学長が決定する。

附 則

- 1 この規程は、平成22年4月1日から施行する。
この規程の施行により、「北海道工業大学ファカルティ・ディベロップメント委員会規程」は、これを廃止する。

第2編大学 2-47 ファカルティ・ディベロップメント規程

- 1 この規程の改正は、平成24年4月1日から施行する。
- 1 この規程の改正は、平成26年4月1日から施行する。
- 1 この規程の改正は、平成27年4月1日から施行する。
- 1 この規程の改正は、平成28年4月1日から施行する。
- 1 この規程の改正は、平成29年4月1日から施行する。
- 1 この規程の改正は、平成30年4月1日から施行する。
- 1 この規程の改正は、2019年4月1日から施行する。
- 1 この規程の改正は、2020年4月1日から施行する。
- 1 この規程の改正は、2020年10月30日から施行する。

学校法人北海道科学大学スタッフ・ディベロップメント規程

(目的)

第1条 この規程は、学校法人北海道科学大学就業規則第95条に基づき、本法人の職員のうち大学（以下「大学」という。）の業務に従事する職員に対するスタッフ・ディベロップメント（以下「SD」という。）を推進するために必要な事項を定めることを目的とする。

(SDの定義)

第2条 この規程におけるSDとは、「大学の教育研究活動等の適切かつ効果的な運営を図るため、職員を対象とした必要な知識及び技能を習得させ、並びにその能力及び資質を向上させるための活動（ファカルティ・ディベロップメントに関する活動を除く）」をいう。なお、職員には、事務職員だけでなく、教育職員及び技術職員を含むものとする。

(SD活動)

第3条 前条のSDに係る活動は、次に掲げる事項とする。

- (1) 大学の管理運営及び教育研究支援に必要な知識及び技能を身に付け、能力及び資質の向上を図るための研修に関すること
- (2) 建学の精神（3つのポリシーを含む）に照らした大学の取組の自己点検・評価と内部質保証、及び大学の改革に資する研修に関すること
- (3) 職員として求められているリーダーシップ能力、マネジメント能力、プレゼンテーション能力、コミュニケーション能力、危機管理能力、政策提案・実現能力、問題解決能力及び事務処理能力等の向上を図るための研修に関すること
- (4) 学生の人間形成を図るために行われる正課外の諸活動における様々な指導、援助等の研修に関すること
- (5) 職員のスキルアップに役立つ資格取得に関すること
- (6) 大学組織における業務の見直しや事務処理の改善等に関すること
- (7) その他SD活動として必要と認める事項

(検討機関)

第4条 前条各号の運営は総務部教職員課が行い、常任理事会の議を経て実施するものとする。

2 研修等の策定及び実施にあたり、専門部会を置くことができるものとする。

(研修会等)

第5条 研修会等は、外部団体が主催して行う「学外研修会等」と大学が独自に企画して開催する「学内研修会等」に大別し、さらに、これら学内外の研修会等を次のとおり区分して職員の派遣、テーマ等を検討する。

- (1) 階層別 新任職員、中堅職員、指導的職員など、経験や役職（職階）に応じて必要な知識を得るための研修会等
- (2) 目的別 特定の知識・技能を修得するための研修会等

(3) 業務別 業務ごとの質的向上や改善等に役立つための研修会等

(4) 個別 職員個々が自主的に自己啓発、スキルアップ等を図るための研修会等

(自己研鑽費助成)

第6条 事務職員に対して、SDの一環として行う自己研鑽に対する費用を助成する。

2 自己研鑽費助成に関し必要な事項は別に定める。

(規程の改廃)

第7条 この規程の改廃は、常任理事会の議を経て理事長が決定する。

附 則

この規程は、平成28年8月19日から施行し、平成28年4月1日から適用する。

この規程は、平成29年4月1日から施行する。

この規程は、平成30年7月3日から施行する。

この規程は、2020年4月1日から施行する。

この規程は、2022年4月1日から施行する。

北海道科学大学キャリア支援センター規程

(目的)

第1条 北海道科学大学（以下「本学」という。）学則第58条に基づき、キャリア支援センター（以下「センター」という。）の組織及び運営について必要な事項を定める。

(組織)

第2条 センターは、次の各号に掲げる者をもって構成する。

- (1) センター長
- (2) 副センター長 2名以内
- (3) センター主任 13名以内
- (4) キャリア支援課長

2 センター長、副センター長及びセンター主任は、学長が選任する。

3 センター長は、センターの業務を掌理するとともに、キャリア支援の企画・運営に関して学長を補佐し、その責任を負うものとする。

4 副センター長は、センター長の命を受けセンター長を補佐するとともに、センター長事故あるときは、センター長があらかじめ指名した順序によって、その職務を代行する。

5 センター主任は、センターの業務に従事する。

(業務)

第3条 センターは、次の業務を行う。

- (1) 学生の就職支援事業に関する事
- (2) 学生のキャリア教育に関する事
- (3) 学生の資格取得に関する事
- (4) 学生のインターンシップ事業に関する事
- (5) 既卒者のキャリアアップ支援に関する事
- (6) 学内外関係機関とのキャリア連携に関する事
- (7) その他必要と認める事項

(会議)

第4条 センター長は、必要に応じセンター会議を招集し、その議長となる。

2 センター長は、必要と認めた場合は、第2条に掲げた者以外の者の出席を求めることができる。

(報告)

第5条 センター長は、会議で審議された事項を学長に報告するものとする。

(専門委員会)

第6条 センターに次の委員会を置く。

(1) キャリア支援委員会

2 委員会に関し必要な事項は、別に定める。

(庶務)

第7条 センターに関する庶務は、キャリア支援課がこれにあたる。

2 会議の議事録は、センター長の指名する者が作成し、議長が確認後、キャリア支援課長が保管する。

(規程の改廃)

第8条 この規程の改廃は、教授会の議を経て学長が決定する。

(雑則)

第9条 この規程に定めるもののほか、センターに関する必要な事項は、別に定める。

附 則

- 1 この規程は、平成24年4月1日から施行する。
- 1 この規程の改正は、平成26年4月1日から施行する。
- 1 この規程の改正は、平成27年4月1日から施行する。
- 1 この規程の改正は、平成28年4月1日から施行する。
- 1 この規程の改正は、平成29年4月1日から施行する。
- 1 この規程の改正は、平成30年4月1日から施行する。
- 1 この規程の改正は、2019年4月1日から施行する。
- 1 この規程の改正は、2020年4月1日から施行する。
- 1 この規程の改正は、2022年4月1日から施行する。
- 1 この規程の改正は、2023年4月1日から施行する。
- 1 この規程の改正は、2025年4月1日から施行する。

北海道科学大学キャリア支援委員会規程

(目 的)

第1条 この規程は、北海道科学大学キャリア支援センター規程第6条に基づき、キャリア支援委員会（以下「委員会」という。）の運営について必要な事項を定めることを目的とする。

(組 織)

第2条 委員会は、次に掲げる者をもって構成する。

- (1) 委員長 キャリア支援センター長
- (2) 委 員
 - ア キャリア支援センター副センター長
 - イ 各学科のキャリア支援委員代表者
 - ウ キャリア支援課長

(任 期)

第3条 前条に掲げる者の任期は、その職の在任期間とする。
2 欠員により補充された場合の任期は、前任者の残任期間とする。

(任 務)

第4条 委員会は、キャリア支援センターの指示を受け次の業務を遂行する。

- (1) 学生の就職支援事業に関する事
- (2) 学生のキャリア教育に関する事
- (3) 学生の資格取得に関する事
- (4) 学生のインターンシップ事業に関する事
- (5) 企業対応・企業開拓等に関する事
- (6) その他必要と認める事項

(会 議)

第5条 委員長は、必要に応じ委員会を招集し、その議長となる。
2 委員長事故あるときは、あらかじめ指名された委員が議長の職務を代行する。
3 委員長は、必要と認めた場合は、第2条に掲げた者以外の者の出席を求めることができる。

(庶 務)

第6条 委員会の庶務は、キャリア支援課がこれにあたる。
2 会議の議事録は、委員長の指名する者が作成し、議長が確認後、キャリア支援課長が保管する。

(規程の改廃)

第7条 この規程の改廃は、キャリア支援センターの議を経て学長が決定する。

附 則

- 1 この規程は、平成21年4月1日から施行する。
- 1 この規程の改正は、平成22年4月1日から施行する。
- 1 この規程の改正は、平成24年4月1日から施行する。
- 1 この規程の改正は、平成26年4月1日から施行する。
- 1 この規程の改正は、平成27年4月1日から施行する。
- 1 この規程の改正は、2019年4月1日から施行する。
- 1 この規程の改正は、2025年4月1日から施行する。